令和２年度　事業報告

社会福祉法人菊川市社会福祉協議会

内　　容

Ⅰ　法人運営　……　2

Ⅱ　地域福祉サービス事業　……　5

Ⅲ　在宅福祉サービス事業　（住民の生活支援事業）　……　34

Ⅳ　介護保険サービス事業　……　36

Ⅴ　障害者総合支援法事業等　……　38

Ⅵ　児童福祉支援活動事業　……　39

事業報告書の付属明細書について

この事業報告書を補足すべき重要な事項はないので附属明細書は作成していません。

事業報告の概要

社会福祉協議会は、地域福祉を推進する組織として、自治体や目的を共にする様々な活動主体と協働し、住民が地域で支え合う環境づくりを進めるために積極的な役割を果たし、公共福祉サービスや他の民間事業者等では対応し難い人々の生活課題に対する相談支援の充実・強化に努め、福祉を基盤とした「まちづくり」に取り組んできました。

令和２年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、一部事業を中止や縮小した形で実施しました。

地域福祉推進事業については、第３次地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、「地域福祉の推進～つながりの“輪”きくがわ～」を目指して行政と社会福祉協議会、地域が三位一体となって取り組みを進めました。さらに住民相互が地域で支えあう仕組みを構築し、住民あるいは地域団体・組織と協働して、「顔の見える社会福祉協議会」となるよう、活動基盤の環境整備の推進、住民ニーズに応えた事業展開に努めました。

介護保険事業については、地域で暮らす高齢者等を支える在宅サービスの主たる担い手として、介護サービスの質の向上や効率的な運営に努めました。

各事業所の目標を掲げ、目標達成に向け、積極的な利用者の受入やコスト削減を意識した業務の遂行に努力しました。

また、「きくがわデイサービス　ぎおんの里」では、通所介護事業とともに共生型サービスの展開を図りました。

児童館事業では、乳幼児親子から小・中学生、高校生までが気軽に利用でき、親子や大人・子ども同士の「出会いとふれあいの場」となるように自由来館と交流事業を行いました。

子育て支援センター事業は、子どもと育児をする人たち（家庭・地域）を応援し、子育ての不安や悩みの解決、子育て支援活動を目的に各種事業を行い、住民のニーズに応じた事業展開を図りました。

今後、社会福祉協議会がこれらの役割・事業を住民に対し存分に発揮し、住民とともに自助・共助・互助を基本とした『地域の福祉力』の強化に取り組み、開拓性、即応性、柔軟性を活かした事業展開が可能となるよう、社会福祉協議会としての考え方を整理し、将来に対しての方向性も確立させながら取組みを強化していきます。

Ⅰ　法人運営

事業内容は委託事業や地域福祉事業、介護保険事業など多様化しており、法人としての経営管理が最重要であり、適切な法人運営や事業経営を行うために、コンプライアンス(法令遵守)及び予算準拠に徹し、事業全体の管理や正確な事業執行が把握できる体制整備と将来的に安定した組織強化に努めた。

１　社会福祉協議会の基盤強化

(1) 法人運営

令和２年度法人運営として、理事会を３回、評議員会を３回開催し、監事による会計監査は決算監査、月例会計監査を実施した。

⑵ 会員の拡大

令和２年度　会費納入総額　10,696,600 円（令和元年度　10,805,800 円）

【内訳】

種　類		一　口	金　額	備　考
一般会費	一世帯	@800	9,825,600 円	12,282 世帯
施設・団体会費	施設会員	@3,000	66,000 円	22 施設
	団体会員	@1,000	5,000 円	５団体
賛助会費	法人会費	@3,000	684,000 円	168 法人
	個人会費	@1,000	116,000 円	94 人

⑶ 理事会・評議員会の運営

ア　理事会

（第１回）

期　日　令和２年６月 10 日（水）
方　法　決議の省略
議　案
第１号　社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正について
第２号　令和元度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会事業報告の承認について
第３号　令和元年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会決算の承認について
第４号　令和２年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第１次補正予算について
第５号　社会福祉法人菊川市社会福祉協議会令和２年度第１回評議員会(定時評議員会)の開催日程等及び議案等について

（第２回）

期　日　令和２年９月 16 日（水）
場　所　プラザけやき　201 会議室
出席者　理事 12 名　監事２名
報　告
第１号　社会福祉法人菊川市社会福祉協議会会長の職務執行状況の報告について
協　議
第６号　令和２年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第２次補正予算について
第７号　社会福祉法人菊川市社会福祉協議会令和２年度第２回評議員会の開催日程等及び議案等について

（第３回）
期　日　令和３年３月 10 日（水）
場　所　プラザきくる　多目的ホール
出席者　理事 11 名　監事２名
報　告
第２号　社会福祉法人菊川市社会福祉協議会会長の職務執行状況の報告について
協　議
第８号　住宅確保要配慮者居住支援法人の指定について
第９号　社会福祉法人菊川市社会福祉協議会定款の一部改正について
第 10 号　社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正について
第 11 号　令和２年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第３次補正予算について
第 12 号　令和３年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会事業計画の承認について
第 13 号　令和３年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会当初予算の承認について
第 14 号　社会福祉法人菊川市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について
第 15 号　社会福祉法人菊川市社会福祉協議会理事及び監事候補者の選出について
第 16 号　社会福祉法人菊川市社会福祉協議会令和２年度第３回評議員会の開催日程等及び議案等について

イ　評議員会

（第１回）
期　日　令和２年６月 24 日（水）
方　法　決議の省略
報　告
第１号　社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正について
協　議
第１号　令和元度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会事業報告の承認について
第２号　令和元年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会決算の承認について
第３号　令和２年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第１次補正予算について

（第２回）
期　日　令和２年９月 30 日（水）
場　所　プラザけやき　201 会議室
出席者　評議員 12 名　監事２名
協　議
第４号　令和２年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第２次補正予算について

（第３回）
期　日　令和３年３月 18 日（木）
場　所　六郷地区センター　多目的ホール
出席者　評議員 12 名　監事２名
報　告
第２号　住宅確保要配慮者居住支援法人の指定について
第３号　社会福祉法人菊川市社会福祉協議会諸規程の一部改正について
協　議
第５号　社会福祉法人菊川市社会福祉協議会定款の一部改正について
第６号　社会福祉法人菊川市社会福祉協議会理事及び監事の選任について

第７号　令和２年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会第３次補正予算について
第８号　令和３年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会事業計画について
第９号　令和３年度社会福祉法人菊川市社会福祉協議会当初予算について

ウ　監査

② 月例監査　毎月 25 日前後に実施

②決算監査　令和２年５月 26 日（火）

(4) 実習生等の受入

ア　社会福祉士を目指す学生の実習受入

期間	日数	学校名	人数
８月 11 日～９月 11 日	25 日間	聖隷クリストファー大学	１名
８月 17 日～９月９日	19 日間	静岡県立大学短期大学部	１名
８月 17 日～９月 17 日	25 日間	静岡福祉大学	１名
８月 17 日～９月 23 日	25 日間	静岡福祉大学	１名
２月 18 日～２月 26 日	６日間	静岡県立大学短期大学部	１名

Ⅱ　地域福祉サービス事業

地域福祉サービス事業は、福祉のまちづくりを基本とした事業を実施するために小地域福祉活動の推進を図った。職員が積極的に地域に出向き、各地区センターを拠点とし、地域住民と一緒にその地域を考え、共に小地域福祉活動を展開する予定であった。

また、地域に住む一人暮らし高齢者等の見守り活動など地域のさまざま問題やニーズにも敏感に反応し、事業展開につなげていけるよう地域住民や社会福祉事業者と共に地域福祉の推進・充実を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業の規模を縮小したり、中止した事業もあった。

１　地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進評価

（1）　地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会

福祉課と共同事務局を担い、平成 28 年度から５年間の「第３次菊川市地域福祉計画・地域福祉活動計画」推進評価のための委員会を開催した。また、来年度計画期間最終年度となることから、期間延長について協議した。

「推進委員会の開催」

日にち	内容
令和２年 11 月 24 日（火）	・第３次菊川市地域福祉計画。地域福祉活動計画の計画延長について ・第４次菊川市地域福祉計画、地域福祉活動計画策定のスケジュールについて ・地域福祉に関する市民アンケート調査票について
令和３年３月１日（月）	・第３次地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況について ・第４次地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定に係る調査結果について ・第４次地域福祉計画・地域福祉活動計画骨子案について

２　市民福祉教育の推進事業

（1）　市民社会福祉大学

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

令和３年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施していきたい。

（2）　みんなのしあわせ懇談会

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

令和３年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施していきたい。

（3） 地域福祉教育実践校助成事業

小・中学校及び高等学校の児童生徒に対し、地域住民との関わりを持った福祉教育を、学校と連携しながら幅広く福祉学習の機会を提供することや、地域と関わりを持ち、社会福祉への理解と関心を高めることを目的に、市内９小学校、４中学校、１高等学校に助成金を交付するとともに、福祉教育に関する相談・プログラムの提供と調整・打ち合わせ等に関わり各校の取り組みを支援した。

３　小地域福祉活動の推進事業

（1） 地域福祉推進基礎組織育成事業

地域福祉を推進し、地域のニーズを地域で解決していくための地域福祉推進基礎組織の育成を図ることを目的に、各地区のコミュニティ協議会に地域福祉の推進を図る部会を設置して地域福祉推進基礎組織の育成を図る予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業がほとんど実施されなかった。

①　各地区の取り組み

ア　西方地区

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で高齢者サロンは中止とした。

今年度も引き続き、堀之内小学校６年生児童への卒業祝いにコサージュを制作した。

令和３年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施していきたい。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	５回開催	―
公文名サロン 堀田サロン 堀之内サロン 沢田サロン 田ヶ谷サロン 堀之内サロン	中止	―
コサージュ制作	１月～２月　　４回	

イ　町部地区

町部地区を３つの地域に分け、高齢者のふれあいいきいきサロンを開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためほとんどの事業が実施されなかった。

令和３年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施していきたい。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	1回開催	―
駅北サロン（日吉町・宮前・緑ヶ丘）	10月22日　（木） 12月17日　（木） 2月18日　（木）	27名 19名 20名
柳町サロン	中止	
駅南サロン （新通･初咲町･日之出1･本通り･西通り）	11月12日　（木） 3月 18日　（木）	22名 20名

ウ　加茂地区

サロン活動として、ゆうゆうサロン、小川端サロン、白岩下サロン、白岩段サロン、白岩東拠り所、三軒家憩の場、長池くつろぎサロンが引き続き実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業もあった。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施していきたい。

内容・実施状況・参加人数

内容	時期・開催回数	中止回数
生き生き部会	6.10.2月・3回	3回
ゆうゆうサロン（加茂地区全体）	毎週水曜日・23回	19回
小川端サロン （対象：80歳以上、ひとり暮らし高齢者、日中ひとり暮らしの高齢者）	5.7.12.2月・2回	2回
白岩下サロン（対象：77歳以上）	6.10.12.2月・1回	3回
白岩段サロン楽楽クラブ （対象：70歳以上）	年11回開催・10回	1回
白岩東拠り所（対象：白岩東自治会住民）	毎月第一水曜日・9回	2回
三軒家憩の場（対象：三軒家自治会住民）	毎月第一火曜日・11回	0回
長池くつろぎの会	毎月第一金曜日・4回	7回
しめ飾りをひとり暮らし高齢者に届ける企画	12月20日中止	1回

エ　内田地区

徳々サロンとひだまりの会サロンが開催された。

「徳々サロン」は東平尾、平尾、西平尾の３地区が対象、「ひだまりの会サロン」は内田全地域の一人暮らし高齢者の方、日中一人の方等を対象とし、レクリエーションやおしゃべりなど、昼食も含め楽しい時間を過ごす予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためほとんどが中止となった。

また、福祉部会では内田地区全体としての地域福祉の在り方についての協議や、研修を行った。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
福祉部会		―
地域サポーター会議	９回開催	―
徳々サロン【東平尾】（東平尾公民館）	５月 18 日　(月) ７月 27 日　(月) 11 月９日　(月) ２月　８日　(月)	―
徳々サロン【平尾】（西平尾公民館）	６月４日　(木) ８月　５日　(木) 11 月 17 日　(火) ２月 24 日　(水)	―
徳々サロン【西平尾】（西平尾公民館）	５月 29 日　(金) ８月 19 日　(水) 11 月 27 日　(金) ２月 19 日　(金)	―
ひだまりの会（内田地区センター）	11 月 19 日　(木) ２月 10 日　(水)	―

オ　横地地区

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、七重会配食事業の配達は 10 月と２月のみ行った。調理室が利用できないため弁当は作らず、10 月は小笠高校の花苗を３つずつ高校生からのメッセージを添え受給者へ配布。２月は市内の飲食店の弁当を七重会の会員が自分の地区の受給者へ配布した。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	３回開催	―
七重会配食	２回開催 10・２月	

内容	実施状況	参加人数
横地いきいきサロンへの参加	中止	―
横地地区センターまつりへの参加(バザー販売)	11 月 8 日（日）	

カ　六郷地区

六郷まちづくり協議会事業として、時間通貨事業、ふれ合い朝市青空サロン(2 年度は朝市のみ)、救急医療情報キット配布事業が行われた。また、毎月実施されるまちづくり協議会企画幹事会に地区担当職員が 2 回出席した。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
第 9 回「六郷の集い」	中止	
朝市．青空サロン	朝市のみ 17 回開催	

キ　河城地区

和田、沢水加、東富田、西富田、上倉沢、吉沢、潮海寺の 7 地区の高齢者サロンでは、新型コロナウイルス感染の対策をとりながら実施したサロンもあるが、多くの集まりの場は中止となった。

河城コミュニティ協議会の健康福祉部としての行事は全て中止となり、部会の集まりもなかった。

河城地区サロン・実施状況

内容	実施状況	参加人数
和田おたっしゃクラブ	2 回開催 8 月･9 月会員宅訪問	
上倉沢ふれあいサロン	1 回開催	
東富田ふれあいサロン		
西富田ふれあいサロン	開催なし	
沢水加いきいきサロン	開催なし	
吉沢あじさいの会	2 回開催	
潮海寺もみじの会	1 回開催	

ク　平川地区

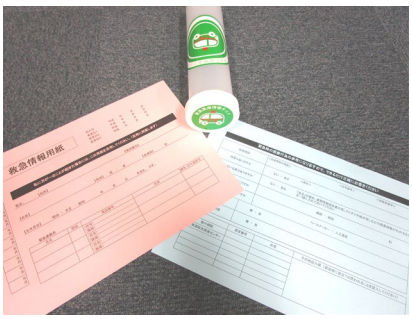
（ア）CART ひらかわサポーター

20 名の地域サポーターが、平川地区にお住まいの一人暮らし高齢者・日中独居（75 歳以上）現在１３名の見守り活動を随時行った。この活動は、日常的な見守りが必要な人のちょっとした変化や異変に気づくことが重要であり、各担当地区の民生委員・児童委員、地域住民（近隣）の御協力を得て実施している。

また、高齢者が、安全・安心を確保することを目的に、万一の救急時に救命作業を敏速に行うために備える、救急医療情報キットの配布に努め、現在 215 名に配布し、地域普及活動をしているが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	中止	
ふるさと夏まつり小笠への参加	中止	
ふれあい広場への参加	中止	
ひらかわ会館まつりへの参加	中止	
代官屋敷梅まつり	2 月 7 日　（日）	
平川地区の見守り運動	随時実施	
救急医療情報キットの普及	中止	
堤サロン（堤公会堂）	10 月 15 日　（木）	19 名



（イ）おもしろがってサロン

16 名の地域サポーターが、ひらかわ会館において、高齢者の居場所づくりとなるサロンを、新型コロナウイルス感染対策を取りながら２回開催した。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
おもしろがってサロン	9 月　8 日　（火） 12 月　8 日　（火）	18 名 午前 18 名 午後 18 名
ふるさと夏まつり小笠への参加	中止	

内容	実施状況	参加人数
ひらかわ会館まつりへの参加	中止	

ケ　嶺田地区

23名の地域サポーター（サポーターみねだ）と民生児童委員等が中心となってみねだ会館を拠点に小地域福祉活動を展開した。

「地の神様で地域づくり」では、地域から参加者を募り地域間と世代間交流を行った。

「みねだおげんき会」では、嶺田地区にお住まいのひとり暮らし（日中独居も含む）高齢者を対象に、高齢者サロンを１回実施した。

「災害時にも使える福祉見守りマップづくり」では、自治会長や防災委員に参加を呼び掛け、地域で福祉的な見守り支援や災害時に支援の必要のある方を確認し、各自治会単位で見守りマップを更新した。

「地域福祉講演会」では、講演会場とリモート会場２ヶ所を繋ぎ、学びの場として実施した。

「ふれあい節分」では、「おうちで節分」とし、福豆・お菓子をドライブスルー方式で配布した。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	10回開催	―
災害時にも使える福祉見守りマップ更新作業	堂　山 7月 12日（日） 中嶺田 7月 19日（日） 大　石 7月 21日（火） 東嶺田 7月 26日（日） 西嶺田 7月 26日（日） 西ヶ崎 7月 26日（日）	13名 13名 18名 23名 14名 7名
みねだおげんき会（高齢者サロン）	1回開催	―
地の神様で地域づくり	11月８日（日）	28名
ふれあい節分	1月 31日（日）	170袋

内容	実施状況	参加人数
地域講演会（四国八十八ヶ所歩き遍路記）	3月 13日（土）	48名

コ　小笠南地区

「家事援助サービス事業」を実施し、地域に住まわれる支援が必要な方に対する、家事における簡易な困りごとの支援を継続して行った。

「地域福祉講演会」では小笠南地区は、新型コロナウイルスのため中止した。その他、出前サロンを5回実施し、延べ91名の参加を得られた。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
出前サロン	5回開催	91名
地の神様づくり前準備	10月22日　（木）	7名
ふるさと夏まつり小笠への参加	中止	
正月飾りづくり	中止	
地域福祉講演会	中止	
みんなみだよりの発行	年間12回発行 80～90部/1回	―

サ　小笠東地区

くすりんを拠点に、福祉見守りマップづくりや福祉講演会など、小地域福祉活動を展開する予定であった。また、ふれあい広場やくすりん祭りへの出店を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

内容・実施状況・参加人数

内容	実施状況	参加人数
地域サポーター会議	4回開催	―
災害時にも使える福祉見守りマップづくり	11月8日　（日） 15日　（日）	17名 16名

内容	実施状況	参加人数
福祉講演会	中止	
地の神様で地域づくり	中止	
くすりん豆まきの会	中止	
お花見歩こう会	中止	
おかえりなさいコール運動	毎月第２水曜日	
認知症予防講座（平成 29 年１月～）	毎月第１・３水曜日	―
ボランティアサロン	毎月第２・４金曜日	―

（2）生活支援コーディネーター事業

各日常生活圏域に１名ずつ生活支援コーディネーターを配置し、地域における①資源開発、②ネットワーク構築、③ニーズと取り組みのマッチングを行った。また、生活支援等サービス体制整備のために多様な主体による定期的な協議の場として協議体を設置し、情報共有及び連携・協働の推進を図った。

地域に出向いて「居場所・買い物・移動・草刈り」に関するニーズの把握に努めるとともに、住民と地域とのつながりをコーディネートするよう努めた。担い手については、傾聴に焦点を当て、ヘルプマンミーティング（情報交換・活動計画等）や養成講座の開催した。居場所の立ち上げについては、モデル的に開催してきている「まちの居場所」で昨年に引き続き居場所の住人、また新たに送迎にボランティア（ヘルプマン）の力を借りた。また地域の居場所については、昨年度から開所している居場所の継続支援を行うとともに、居場所開所の検討を行っている地域への働きかけを行った。買い物支援・移動支援については、あいのりタクシー事業の PR、情報提供、説明に努めた。

（ア）生活支援

事業目標	活動内容
ニーズ把握	① ＰＲ【活動の周知】 ・生活支援コーディネーターチラシを作成し情報発信　地域に出向く際使用 ・ＳＮＳによる情報発信　令和２年度発信回数　　82　回 配布先：地域の地区センター、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、その他 ② 地域に出向き情報収集 ・地域ニーズの把握　随時 各地域を訪問した中で、買い物、移動、居場所についてのニーズが多くそれらの課題を解決するために取り組んだ。 ③ よろず屋(移動相談会)　→中止
地域資源の開発	① 地域資源の把握【見える化】 ・ファイルの充実　各中学校区別にファイルを用意し、把握した情報を記入 ② 地域包括支援センターとの意見交換 生活支援コーディネーターの現状報告を踏まえた意見交換 令和２年６月 15 日（月） ③ ケアマネジャーとの意見交換等 連絡会：令和２年９月 24 日(木)、11 月 12 日（木） 主任ケアマネ部会：令和２年 11 月 25 日（木） ④ 地域資源では対応しきれない生活ニーズについて協議体につなげた。 ・草刈りボランティア

事業目標	活動内容
活動担い手育成	① 「傾聴ボランティア育成講座」 日　　時　令和２年 12 月 11 日（金）午後１時３０分から午後３時３０分 会　　場　六郷地区センター 講　　師　古井 慶治氏（ふるい後見事務所認定社会福祉士） 参加人数　13 名 ② ヘルプマンミーティング ・実際の担い手（訪問傾聴ボランティア）を対象にミーティングを開催（年２回） 第一回目：令和２年６月４日（木） 第二回目：令和２年６月９日（火）
ネットワーク化の推進	① 各地区コミュニティ協議会との連携 各地域のコミュニティセンターに訪問し、連携を図りました。 地区社協との情報交換、情報提供を行いました。

（イ）協議体

開催日	議題
第１回協議体 令和２年７月 29 日（水）	・移動支援、買い物支援について ・居場所について ・草刈り・剪定ボランティアについて ・結び直しプロジェクト ・社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業について
第２回協議体 令和２年９月 28 日（月）	・協議体について（１層・２層） ・活動報告（草刈り、空き家、ボランティア学習会、むすぶ菊川、あいのりタクシー）
第３回協議体 令和２年 12 月 18 日（金）	・菊川市社会福祉協議会の取り組みについて（草刈り、有償運送月次運行報告） ・担い手養成講座（はじめての手話、訪問傾聴ボランティア養成講座） ・あいのりタクシー事業について
第４回協議体 令和３年３月 17 日（水）	・移動サービス事例報告会について ・あいのりタクシー事業につして ・サービスＤについて（長寿介護課説明）

（ウ）居場所

常駐型居場所モデル
① 地域に出向き情報収集　随時 ・「まちの居場所」を開催 日時：令和元年７月から　毎月第２・４木曜日　午前 10 時～午後 3 時 場所：東部ふれあいプラザ ※居場所の住人をヘルプマン、運転ボランティアの関わりあり ② 継続支援 ２地区センター（小笠東・小笠南）、５自治会（佐栗谷・堂山・花水木・上本所・上本所団地） ②　新規検討　１地区センター（西方）
寺・空き家活用モデル
① 地域に出向き情報収集　随時 ② 継続支援　またきてカフェ in 報恩寺（町部）

（エ）買い物

あいのりタクシー事業
① 地域に出向き情報収集　随時　令和２年度中止→長寿介護課：元気はつらつ教室にて実施
社会資源活用モデル
① 地域に出向き情報収集　随時 ② 継続支援 ・買い物バスの実施（奥の谷自治会） ・移動販売車　情報提供および現状把握 ③　情報提供

（オ）移動

居場所・サロンサポートモデル
② 地域に出向き情報収集　随時 ③ 検討・実施　まちの居場所での運転ボランティア
その他
① 地域に出向き情報収集　随時 ② 検討・実施

（カ）情報

事業目標	活動内容
情報交換	① 情報交換会（中止） ② 連携・協力

（3）ふれあい健康づくり

各地域において、レクリエーションができる指導者の育成、レクリエーション技術の演習を通じて、サポートできる実践者のスキルアップのためのレクリエーション講座を開催した。

開催日時

回	開催日	講師	参加人数
1	令和２年９月７日（月） 午後１時 30 分～３時 30 分	島田市レクリエーション協会 事務局長　青野　宏子 氏	29 名
2	令和２年 10 月１日（木） 午後１時 30 分～３時 30 分		32 名

場所　菊川市総合保健福祉センタープラザけやき 201 会議室

（4） 地域巡回型介護レクリエーション予防出前講座

ふれあい健康づくり事業として、健康でいきいきとした生活を送るために、市内の各地区にある老人クラブ（単位老人クラブ）、地域サロン、自治会に出向き体操やレクリエーション等の健康予防講座を実施した。

また、高齢者のサポート活動をする上で必要なレクリエーション活動の取り組みをレクリエーション活動登録者（20 名）と共に地域に出向き実施した。

講座開催状況

	参加者	内　容
出前講座 （キャラバンメイト）	43 名	認知症サポーター養成講座

	参加者	内　容
地域巡回型介護レク予防出前講座	93 名 （男性 20 名　女性 62 名 スタッフ 11 名	自宅でも気軽に実践できる健康体操 レクリエーション
レクリエーション活動登録者同伴　出前講座	269 名 （男性 62 名　女性 159 名 スタッフ 48 名	高齢者のサポート活動 レクリエーション

４　広報・啓発事業

（1）　広報活動事業

地域福祉推進への意識啓発を目的に「社協だより」「ホームページ」「ブログ」「市広報」等を通じ多面的に展開した。また、よりよい広報活動を展開するために、広報モニターを設け、それぞれにアンケート調査を実施し、アンケートやモニター会議で出された意見を参考にわかりやすい広報活動に努めた。

① 社協だより　　発行回数　月１回　計 12 回　　発行部数　15,500 部/月
②ホームページの運営及びブログによる情報発信

（2）　ふれあい広場

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

（3）　菊川市社会福祉大会開催事業

近年、私たちをとりまく環境は、困窮・貧困、虐待、孤立死、自殺、ＤＶ（家庭内暴力）被害、ひきこもりなど、なかなか解決には至らない深刻な福祉・生活問題が存在しており、既存の社会保障・社会福祉制度では十分に対応しきれていないことは多くの人が感じているところである。また、近年日本に各地で地震や集中豪雨などが頻発し、突然の自然災害に備え、防災対策の必要性がこれまで以上に認識され、地域住民による様々な取組みが行われている。

このように、誰もが安心していきいき暮らすことができる菊川市の実現に向けて、若者も高齢者も全ての人々が自助・共助・公助の下に持てる知恵と能力を結集し、地域力を高めるために開催した。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式典のみの縮小開催とした。

名　　称　令和２年度菊川市社会福祉大会
主　　催　菊川市社会福祉協議会
日　　時　令和３年２月 11 日(木・祝)午後１時 00 分～
会　　場　プラザけやき　201 会議室
参 加 者　46 名
内　　容　菊川市社会福祉協議会会長表彰　　個人 12 名　１団体
　　静岡県共同募金会会長感謝状贈呈伝達　２団体

（4）　障がい者理解普及啓発交流事業

①ふれあい企画

障がいに対する理解を深めることを目的に、社会福祉法人草笛の会の協力において行った。また、年間をとおして、水かけボランティアと協力し、草取りや水かけを行った。

【第１回】
日　　時　令和２年６月 22、23、26、29 日の４日間
場　　所　東名菊川インター

参 加 者　草笛の職員２名、利用者２名
内　　容　インター前花壇の花植え
協　　力　社会福祉法人草笛の会かすが、おっ撮りカメラ隊
後　　援　菊川市

【第２回】
日　　時　令和２年 12 月８日（火）午前９時 30 分から午後 11 時 00 分
場　　所　東名菊川インター
参 加 者　草笛の職員２名、利用者２名、NEXCO 職員４名、社協職員３名
内　　容　インター前花壇の花植え
協　　力　社会福祉法人草笛の会かすが、ＮＥＸＣＯ中日本、おっとりカメラ隊
後　　援　菊川市

② グラウンドゴルフ交流会

菊川市内の精神障がい当事者の交流を深め、地域移行・地域定着の促進を図ることを目的に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

（5） 共同募金運動推進事業

① ふれあい広場会場にて共同募金運動の普及活動

③ 住民参加による共同募金配分（地域福祉活動等支援助成事業審査会）

④ 歳末たすけあい募金配分金事業（配分決定世帯　49 世帯）

申請方式による配分金配布を行う歳末たすけあい募金配分金事業を施行している。お寄せいただいた歳末たすけあい募金を、一人暮らしの高齢者世帯や母子家庭など援助を必要としている世帯へ、「あたたかくお正月を迎えていただけるように」と配分した。

⑤ 歳末たすけあい募金助成事業（事業所利用者　183 名　事業所　５ヶ所）

障害者自立支援法に規定する就労継続支援Ｂ型事業所（以下、事業所）の工賃が低く利用者の生活も大変であるという現状を踏まえ、歳末たすけあい運動の趣旨に基づき、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるように、事業所に通う菊川市に住所を有する方と事業所に対し助成を行った。

（6） 大規模災害被災時対応訓練

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。
令和３年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら実施する予定。

（7）権利擁護推進事業

掛川市、御前崎市、菊川市の３市行政と社会福祉協議会、専門職による「東遠地域市民後見人養成推進委員会」を開催した。

また、掛川市、御前崎市、菊川市の広域連携による市民後見人養成講座を開催した。

ア　　東遠地域市民後見人養成推進委員会

回	月　日	内　容
第１回	７月 29 日（水）	市民後見人養成講座と東遠地域市民後見人養成推進委員会スケジュール変更について、第３期市民後見人養成プログラム（基礎研修・実践研修）変更案
第２回	８月 24 日（月）	第３期市民後見人養成講座書類選考、第２期市民後見人養成講座受講者の対応、第２期市民後見人養成講座修了選考（案）、中核機関の設置に向けて
第３回	10 月 26 日（月）	第２期市民後見人養成講座修了選考、第３期市民後見人養成講座中間選考
第４回	１月 18 日（月）	第３期市民後見人養成講座修了選考、中核機関設置に向けての状況、市民後見人推薦名簿登録の選考について
第５回	３月 24 日（水）	第１期市民後見人養成講座修了生推薦名簿登録審査、中核機関設置に向けた準備委員会（案）

イ　第２期東遠地域市民後見人養成講座（実践研修）

回	月　日	内　容
第１回	４月 16 日（木）	障害者施策、市税、地域福祉
第２回	６月 18 日（木）	就任時の実務、家庭裁判所の役割
第３回	６月 24 日（水）	成年後見の実務①、対人援助の基礎、体験実習についての留意点
第４回	７月２日（木）	成年後見の実務②、後見終了時の実務
第５回	８月５日（水）	課題演習（グループワーク）

ウ　第３期東遠地域市民後見人養成講座（基礎研修）

回	月　日	内　容
第１回	９月３日（木）	成年後見制度概論・各論　他
第２回	９月 10 日（木）	市民後見概論、精神障害・知的障害の理解
第３回	９月 17 日（木）	民法、認知症高齢者の理解
第４回	９月 23 日（水）	関係制度法律（高齢者施策、障害者施策　他）
第５回	10 月１日（木）	関係制度・法律（生活保護　他）、市民後見人活動

エ　第３期東遠地域市民後見人養成講座（実践研修）

回	月　日	内　容
第１回	11 月 4 日（水）	対人援助の基礎、地域福祉、体験実習についての留意点
第２回	11 月 12 日（木）	家庭裁判所の役割、障害者施策、高齢者施策　他
第３回	11 月 19 日（木）	成年後見実務①、成年後見実務②
第４回	11 月 26 日（木）	後見終了時の実務、関係制度・法律（年金制度）
第５回	12 月 2 日（水）	課題演習（グループワーク）

（8）　菊川市慰霊祭開催事業

菊川市慰霊祭の開催。各戦役事変により殉ぜられた菊川地区御英霊 832 柱、小笠地区御英霊 488 柱の慰霊祭を仏式にて執り行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模縮小、合同開催としました。

日　時　令和２年 10 月５日（月）午前 10 時 00 分～

会　場　ＪＡやすらぎホール雅

参列者　24 名

（祭主・主催者４名、ご遺族菊川地区３名、小笠地区３名、来賓３名、僧侶３名、社協職員４名　福祉課職員３名、写真ボランティア１名）

５　総合相談及び生活支援事業

（1）福祉総合相談事業

複雑かつ多様化する福祉ニーズに応じた総合的な相談事業を実施し、来所及び電話相談を受け付けた。

また、必要に応じて関係機関との連携を図り、継続的な支援を行った。

相談日時　月～金　午前８時 15 分～午後５時 00 分
相談場所　プラザけやき
相 談 員　社会福祉協議会職員(福祉総合相談員)
相談件数　　116 件　（令和元年度　146 件）

（2）心配ごと相談事業

毎月４回相談日を設け、来所による相談を実施した。家族に関する相談を始め、医療、生計など、多岐にわたる相談に対応した。

また、相談員の資質向上のため、相談員研修会を２回実施した。

相談日時　毎月４回　原則１日、20 日　午前９時 00 分～正午
　　5 日、15 日　午後１時 00 分～午後４時 00 分
※休日と重なった場合は、次の平日に開催。ただし、会場の都合により変更有。
場　　所　プラザけやき（１日、15 日）　中央公民館（５日、20 日）
相 談 員　民生委員児童委員 12 名　人権擁護委員８名　行政相談委員２名
相談件数　　29 件（令和元年度 29 件）

		令和２年度		令和元年度	
		プラザけやき	中央公民館	プラザけやき	中央公民館
相 談 件 数		10 件	19 件	17 件	12 件
処理状況	解　　決	1 件	0 件	4 件	0 件
	再　　来	1 件	24 件	4 件	1 件
	民生委員	1 件	0 件	1 件	0 件
	他 機 関	7 件	14 件	11 件	6 件
	そ の 他	5 件	10 件	8 件	17 件

相談員研修会

【第１回目】

日　時　　令和２年９月９日（水）　午後１時 30 分～午後３時 30 分
会　場　　町部地区センター
内　容　　講　義　「相談過程における情報の共有と連携」
　　講　師　　ふるい後見事務所　社会福祉士　古井　慶治氏

【第２回目】

日　時　　令和３年３月 26 日（金）午後１時 30 分～午後３時 15 分

会　場　　くすりん

内　容　　講　義　「事例から学ぶ相談のつなぎ方」

講　師　　ふるい後見事務所　社会福祉士　古井 慶治氏

（3）結婚相談事業

毎月２回の結婚相談日を設け、結婚相談所登録者からの相談に応じた。

また、月１回の定例会と年４回の四市一町結婚相談員連絡会においては、結婚相談員同士の情報交換や意見交換を行った。（菊川市、磐田市、袋井市、掛川市、森町）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため１回は中止とした。

同時に各市町担当者間の連携を図り、よりよい結婚相談所の運営に努めた。

相談場所　プラザけやき

相談日時　毎月第１金曜日　午後６時 00 分～午後９時 00 分

奇数月は「女性のための結婚相談日」

毎月第３日曜日　午前９時 00 分～正午

相 談 員　10 名（１回の相談を２名で対応）

任　　期　平成 30 年９月１日～令和３年８月 31 日

相談実績

	令和２年度	令和元年度
	プラザけやき	プラザけやき
延開催回数	22 回	24 回
登録者数	72 名（男性 54・女性 18）	76 名（男性 58・女性 18）
相談日受付件数	169 件	121 件
相談日外活動件数	225 件	202 件
見合い設定件数	86 件	113 件
結婚成立件数	女性２名　男性１名	女性２名　男性２名
市結婚相談員連絡会	12 回	12 回
４市結婚相談員連絡会	３回	４回

⑷ 生活福祉資金貸付事務及び相談支援

生活に困窮している世帯などを対象に、低利な資金を貸し付けることにより、世帯の経済的自立を支援した。

新規貸付件数

貸付資金種別		令和２年度	令和元年度
総合支援資金	生活支援費	235 件	0 件
	住宅入居費	0 件	0 件
	一時生活再建費	0 件	0 件

貸付資金種別	令和２年度	令和元年度
緊急小口資金	464 件	0 件
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 件
福祉資金	0 件	0 件
教育支援資金	0 件	0 件
計	699 件	0 件

⑸ 小口資金貸付事業

生活資金が一時的に欠乏し、生活が困窮状態にあると認められる者を対象に貸付を行った。

＜貸付件数＞

貸付資金種別	令和２年度	令和元年度
小口資金	８件	８件

⑹ セーフティネット支援ネットワーク事業

地域において、既存制度では対応できない人、制度の狭間にいる人、生活困窮から必要なサービスを受けられない人及び重複した生活課題を抱える人等の支援を必要とする人々に対し、菊川市内の社会福祉関係機関が連携し、継続的な相談支援を行なうとともに、必要に応じて経済的援助を行ない、自立した生活を支援するためにネットワーク構築をし、会議にて事例検討を行った。

⑺ 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等自分ひとりで大切な事柄の決定をすることに不安を感じている人に対して、福祉サービスの利用援助や利用料の支払い援助等を行えるよう利用者、県社協そして本会との３者契約により生活支援員による支援サービスを提供した。

＜相談件数・利用者数＞

	令和２年度	令和元年度
相談件数	259 件	393 件
利用契約者	９名	12 名

⑻ 安心見守りサービス事業

金銭管理が上手くできないなど、生活上何らかの不安がある人に対して、定期的な見守りや福祉サービスの利用に関する相談に応じ、料金の支払いや日常の金銭管理等をしたりすることで、できるだけ自立して地域で生活が送れるように支援した。

＜利用者数＞

	令和２年度	令和元年度
利用契約者	９名	９名

(9)自立相談支援事業（生活困窮者自立支援法事業）

ア　自立相談支援事業

本人、家族、関係機関等から生活困窮状態に関する相談を受け付けた。経済的困窮や病気を抱えている相談があった。

抱えている課題を分析し、継続的な支援が必要となった場合は、それを解決できるようプランを策定した。

計画に基づく各種支援が包括的に行われるよう、関係機関の参加による支援調整会議を毎月開催した。

新型コロナウイルスの影響による収入減少などの相談が急増した。

＜相談件数・利用者数＞

	令和２年度	令和元年度
新規相談受付件数（本人同意なしを含む）	542 件	61 件
新規相談申込件数（本人同意ありのみ）	27 件	25 件
プラン策定前自立	20 件	20 件
前年度支援継続件数	８件	７件
支援決定・確認件数(再プランを含む)	11 件	７件
支援終了者件数	５件	４件

イ　家計相談支援事業

生活困窮状態に関する相談支援の利用者で、１人では上手くお金を使うことができない人に対し、家計を管理するための助言を提供したり、さまざまな支援につないだりすることで、自ら家計を管理できるようになるために一緒に収支を確認するなどの支援を行った。

＜利用者数＞

	令和２年度	令和元年度
家計相談支援利用者数	２名	５名

(10)非常時あんしん対策事業

自然災害や市民生活に不安を及ぼす不測の事態に備え、市民の安心とボランティアや職員等が安心して活動できるよう、そして、平常時には生活困窮者等へ提供できるよう食料等の備蓄を行った。

また、食料等については、フードバンクふじのくにのフードドライブという市民等からの食料寄贈の取り組みに協力し、それにあわせて、市内関係者とネットワークづくりも行った。

フードドライブへの協力

	時期
第１回	８月
第２回	１月

(11)「ひきこもり」問題に社会福祉施設・団体の連携での取り組み

「ひきこもり」の問題を抱える当事者やその家族に対し、相談や支援を行った。

ア　ひきこもり・不登校相談

ひきこもりや不登校についての本人・家族等の相談に応じた。

相談件数　66 件

イ　中間的就労の支援

ひきこもりになっている方やご家族に中間的就労支援の説明を行った。
福祉施設での就労体験につながった。

相談件数　１件
就労体験利用者実人数　１名

ウ　居場所づくり

ひきこもりになっている方等の居場所づくりとして、プラザけやきにおいて、軽作業を行った。

開催回数　24 回（月２回）

エ　近隣市社会福祉協議会ひきこもり支援事業担当者情報交換会

日　時　　令和３年１月 25 日（月）　午後１時 30 分～午後３時
場　所　　各市（ＷＥＢによる参加）
内　容　　各市でのひきこもり支援事業報告等
参加者　　島田市・袋井市・御前崎市・掛川市・菊川市社会福祉協議会職員
オブザーバー　　静岡県精神保健福祉センター、西部健康福祉センター
　　静岡県社会福祉協議会

６　福祉サービス事業

(1) 福祉有償運送事業

菊川市に在住する身体の不自由な高齢者、身体障害者及び知的障害者並びに精神障害者で、移送手段を確保することが困難なため、医療、福祉施設等本人が希望するサービスの利用や外出等が困難な人に対して、福祉有償運送事業を実施した。

令和２年度　運行実績　（R１実績　435 件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	77	51	78	95	105	110	119	88	129	91	113	130	1,186

（2）特殊寝台貸出事業及び福祉用具貸出事業

福祉用具の貸与を行った。高齢者から若年者まで、幅広い年齢層で利用があった。　地域包括支援センターや病院、ケアマネジャー等の関係機関からの問い合わせや紹介も多数あった。

≪年間利用実績≫

貸与機種	貸付台数	
	令和２年度	令和元年度
介護用ベッド	24 台	24 台
車椅子	66 台	170 台
リクライニング車椅子	18 台	9 台
シャワーチェアー	9 脚	16 脚
浴槽内イス、バスボード	2 台	7 台
浴槽手すり	6 台	10 台
歩行器・歩行車	12 台	16 台
歩行杖	6 本	7 本
ポータブルトイレ	27 台	39 台
その他（スロープ）	33 台	17 台

（3）福祉車両の貸出

公共交通機関を利用することが困難な歩行障がい者(車いす生活者、高齢者)の病院、施設への送迎及び社会参加の為に特殊車輌(スロープ、リフト付)の貸出を行い、９６名が利用された。

令和２年度福祉車輌貸出実績　（R１実績　498 件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	34	35	25	43	36	41	28	26	42	43	38	63	454

（4）視覚障がい者外出支援事業

菊川市内に居住する重度視覚障がい者が、菊川市身体障害者福祉会及び視覚障がい者部会の会議、旅行等の行事にて外出の際、障がい者から申請を受け派遣し、福祉の増進を図った。

総派遣人数　３名（令和元年度　16 名）

派遣時間　7.5 時間（令和元年度　82.5 時間）

重度視覚障がい者ガイドヘルパー登録者　　12 名

（5） レクリエーション用具等貸出

市民が集う場がより楽しく交流できる場となるように、貸出用のレクリエーション用品（48 種類）を整え、貸し出しを行った。

今後も市民からの要望を取り入れ、より多くの方々に楽しんで頂けるようなレクリエーション用品の貸出しを行う。

令和２年度貸出件数　96 件（令和元年度実績　118 件）

７　補助金及び助成金交付事業

（1）　補助金等交付事業

ア　菊川市遺族会

イ　菊川市手をつなぐ育成会

ウ　菊川市身体障害者福祉会

（2）地域福祉活動等支援助成事業

菊川市内の福祉的な課題に取り組んでいる当事者組織や、地域で福祉活動や市民活動を実施しているボランティア・市民活動団体、先駆的・開発的な事業をおこなうグループなどに対し、共同募金の配分金を財源に予算の範囲内において、地域における福祉活動を支援することを目的に助成金の交付を行った。また交付対象者を厳正かつ公正に審査するため、本会評議員６名とオブザーバー１名（静岡福祉文化実践研究所 平田　厚氏）による審査会を実施した。

助成団体　35 団体　2,772,000 円

（令和元年度　36 団体　2,993,000 円）

（3）ボランティアグループ等助成事業

ア　菊川市手話通訳者協議会

（4）菊川市民生委員児童委員協議会事務局

民生委員・児童委員と連携をし、地域福祉の推進を図った。菊川市民生委員児童委員協議会（菊川市、菊川東地区、菊川西地区、小笠地区）事務局として、総会及び定例会等の運営支援を行った。

８　ボランティア活動の推進事業

（1）ボランティアセンター運営事業

ボランティア活動の一層の推進を図り、地域住民の地域福祉への参加を進めることは、お互いが支えあう地域社会を構築していくために欠かせないものである。

ボランティアの養成・研修を行い、ボランティア活動者の育成を図るとともに、一般住民への啓発、ボランティアの登録、需給調整、ボランティア活動の円滑な推進のための情報収集と提供、ボランティアグループや市民からの活動に関する相談受付、ボランティア相互の連絡調整等を行うことによりボランティア活動推進に努めた。

①　ボランティアの相談、登録、需給調整

＜実績＞

令和２年度	令和元年度
52 件	169 件

② ボランティア保険加入促進

安心してボランティア活動に取り組むための保険について、社協だよりやホームページを活用し、広報や情報提供を行った。

ア ボランティア活動保険（その他グループ、個人） 計 1,924 名
（保険金請求件数５件）

イ ボランティア活動保険天災タイプ 計 72 名
（保険金請求件数０件）

ウ 福祉サービス総合保険 ４件
（保険金請求件数０件）

エ 送迎サービス補償 ２件

オ ボランティア行事保険 12 団体 36 件

③ ボランティアグループの育成・支援

各グループの活動において、必要に応じて以下のような関わりを持った。

ア 外部からのニーズ（ボランティア参加や活動依頼等）とグループ間との調整を行った。

イ ボランティアグループの行う事業に対し、演奏ボランティア等の調整を行った。

ウ ボランティアグループにおけるボランティア募集の調整を行った。

エ ボランティアグループの運営上の課題や問題に関する相談に応じた。

オ ボランティアグループの研修先の連絡調整、研修の紹介を行った。

カ ボランティアグループの活動について広報、ボランティアの調整を行った。

キ 必要に応じてボランティアグループの会議に参加した。

ク 活動資金、機材を必要とするグループに企業、財団等の助成金情報を提供した。

④ ボランティア連絡協議会「ゆう＆あい菊川」への支援

事業推進のための関係機関との連絡調整や情報提供を行った。

ア 理事会 年６回開催

イ 総 会 令和２年４月 10 日（金）プラザけやき ボランティア室

ウ 交流研修会 中止

エ 講演会（ボラ連・ボランティアセンター共催事業） 令和２年 12 月 13 日（日）

オ 交流会 中止

⑤ 児童生徒のボランティア活動

菊川市教育委員会ボランティア活動支援センターと協働・協力し、８年目となる次の事業を行った。

ア ボランティア担当者会（主催：菊川市教育委員会）への参加
中止 資料のみ配布

イ 「ボランティア学習会」の開催
日 時 令和２年８月 22 日（土）
午後１時 30 分～午後３時 30 分

会　場　中央公民館
内　容　①体験「マシュマロチャレンジ」
②体験「近隣たすけあいゲーム」
講師　社会福祉法人菊川市社会福祉協議会職員
参加者　11 名（学生 11 名）

⑥　情報交換会・連絡会などへの参加
・市民活動支援センター連絡会
日　時　令和 2 年 10 月 21 日（水）午前 9 時 30 分～午前 11 時 00 分
会　場　プラザきくる
参加者　菊川市地域支援課、菊川市社会教育課、菊川市市民協働センター
菊川市長寿介護課、菊川市社会福祉協議会　　計 10 名

⑦　その他
ア　市内福祉施設・地域高齢者サロンへのボランティア(主に趣味を活かしたボランティア)の調整を行った。
イ　訪問傾聴ボランティア派遣事業を実施した。
ウ　個人登録ボランティアに、ボランティア募集の情報提供をし、活動に結びつけた。
エ　古切手・ベルマーク等の外部団体への送付・寄贈を行った。

(3) ボランティア講座
ア　福祉有償運送運転者講習会
日　時　①令和２年　7 月 21 日（火）午前９時 30 分～午後４時 00 分
令和２年　7 月 22 日（水）午前８時 45 分～午後３時 30 分
②令和２年 11 月　5 日（木）午前９時 30 分～午後４時 00 分
令和２年 11 月　6 日（金）午前８時 45 分～午後３時 15 分
会　場　①特別養護老人ホーム松秀園
内　容　福祉有償運送運転に関わる講義および演習
講　師　東遠学園職員、和松会職員、草笛の会職員、白翁会職員
菊川市社会福祉協議会職員
参加者　①20 名(一般 7 名、事業所職員 13 名)②15 名(一般 4 名、事業所職員 11 名)

イ　災害ボランティアコーディネーター養成講座→中止

ウ　はじめての手話
日　時　令和２年 11 月 27 日、12 月４日、11 日（全３回）
午後 7 時 30 分～午後 9 時
会　場　プラザけやき　201 会議室
内　容　手話の学習、耳が聴こえない人のお話、手話の歌

講　師　身体障害者福祉会ろうあ部
参加者　14 名（大人８名、小学生３名、中学生１名、高校生２名）

エ　ボランティア講演会（ボラ連との共催事業）
日　時　令和 2 年 12 月 13 日（日）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
会　場　プラザけやき２０１会議室
内　容　人生に「もう遅い」はない
講師　若宮　正子 氏（メロウ倶楽部副会長）
参加者　41 名

オ　訪問傾聴ボランティア意見交換会
日　時　①令和２年６月４日（木）
②令和２年６月９日（火）
会　場　①プラザけやき　ボランティア室
②プラザけやき　ボランティア室
内　容　感染症対策、訪問活動再開時期について情報、意見交換、相談
参加者　ボランティア登録活動者
①５名
②６名

カ　訪問傾聴ボランティア現任研修（スキルアップ）
会　場　小規模多機能ホームようこそ
日　程　毎月第２水曜日　午前 10 時～11 時
内　容　ようこそでの傾聴活動
実　績　６月１０日（２名）、７月８日（２名）、８月 12 日（２名）
９月９日（1 名）、１０月 14 日（１名）、１１月１１日（1 名）、
12 月 9 日（２名）、２月１０日（２名）

Ⅲ　在宅福祉サービス事業　（住民の生活支援事業）

在宅福祉サービス事業は、主に行政からの委託事業を行っているが、長寿介護課及び地域包括支援センター等による利用者の選定により事業展開が変動するため、綿密な連携が必要とされる。今後、社会福祉協議会として広報活動を通じ、より多くの市民に本事業を知ってもらい利用者を増やす努力をしながら、事業体制の確立と収支バランスのとれた委託契約を結び、職員の意識改革・高揚を高め、さらに事業内容についても社会福祉協議会らしさを追及した事業展開を図った。

1　高齢者福祉サービスの充実

⑴ 長寿介護課及び地域包括支援センター等との連携強化

⑵ 東部ふれあいプラザの管理

⑶ 一般高齢者通所型介護予防事業

ア　いきいきサロンけやき

開催日時　　毎週火曜・水曜・木曜・金曜　午前 10 時 00 分～午後 2 時 00 分
会　　場　　プラザけやき

	令和２年度	令和元年度
	プラザけやき	プラザけやき
利　用　者　数	43 人 男性（３） 女性（40）	48 人 男性（４） 女性（44）
延 利 用 者 数	1,305 人	1,618 人
年 間 開 催 日	171 日	198 日
１日平均利用者数	7.6 人	8.2 人

イ　いきいきサロン東部

開催日時　　毎週月曜・水曜・金曜　午前 10 時 00 分～午後 2 時 00 分
会　　場　　東部ふれあいプラザ（潮海寺）

	令和２年度	令和元年度
	ふれあいプラザ	ふれあいプラザ
利　用　者　数	20 人 男性（２） 女性（18）	18 人 男性（１） 女性（17）
延 利 用 者 数	462 人	761 人
年 間 開 催 日	132 日	141 日
１日平均利用者数	3.5 人	5.4 人

⑷ 外出支援サービス事業

	令和２年度	令和元年度
延　　回　　数	2,903 回	3,349 回
移 送 （ 病 院 ）	203 回	118 回
生きがい活動送迎	2,600 回	3,231 回

Ⅳ　介護保険サービス事業

１　居宅介護支援事業

(1)　きくがわ居宅介護支援事業所

（ケアプラン作成件数）前年度 2,318 件

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護	147	144	146	149	157	160	160	165	165	165	158	162	1,878
予防	39	37	40	39	43	42	40	43	43	41	41	40	488
計	186	181	186	188	200	202	200	208	208	206	199	202	2,366

２　老人介護等支援事業

(1)　きくがわヘルパーステーション

前年度　派遣回数 4,121 回　稼働時間 3,351 時間　利用者数 470 人

（単位：回、時間、人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
派遣回数	378	393	379	347	360	363	352	338	274	294	300	367	4,145
稼働時間	315	325	328	300	308	297	280	264	222	245	249	316	3,449
利用者数	39	38	38	37	38	36	36	35	34	35	36	36	438

３　通所介護事業

(1)　きくがわデイサービス　ぎおんの里

前年度　運営日数　308 日　利用延数　6,328 人　1 日平均　20.5 人

（単位：日、人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運営日数	26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308
利用延数	492	502	516	509	522	555	601	571	559	538	536	598	6,499
1日平均	18.9	19.3	19.8	18.9	20.1	21.3	22.3	22.8	23.3	22.4	22.3	22.1	21.1

4　訪問看護事業

(1)　きくがわ訪問看護ステーション

前年度　利用者数　1,064 人　利用件数 4,960 件

（単位：人、件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
利用者数	86	87	88	88	86	86	85	83	79	81	81	79	1,009
利用件数	393	401	444	476	434	462	425	410	396	387	375	432	5,035

Ⅴ　障害者総合支援法事業等

１　居宅介護等事業

(1)　社協きくがわ支援事業所

前年度　派遣回数　369 回　稼働時間　526.25 時間　延利用者数　105 人

（単位：回、時間、人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
派遣回数	29	28	30	33	30	34	35	34	28	33	30	34	378
稼働時間	36.25	37.25	37.75	47.75	39.75	47.5	48.25	42.75	36.25	44.5	43.25	46.25	507.5
利用者数	8	10	9	11	10	9	8	11	9	9	10	10	114

２　地域生活支援事業

（1）　移動支援事業

前年度　派遣回数　35 回　稼動時間　125.6 時間　延利用者数　14 人

（単位：回、時間、人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
派遣回数						1	6	5	4	4	6	12	38
稼動時間						1.5	19.1	13.5	3.75	1.75	6.5	25.3	71.4
利用者数						1	2	2	2	2	3	3	15

３　共生型生活介護事業

(1)　きくがわデイサービス　ぎおんの里

前年度　運営日数　308 日　利用延数　13 人　1 日平均　0.04 人

（単位：日、人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運営日数	26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308
利用延数													0
1日平均													0

※　新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、利用者がサービス利用を控えたため、上記の実績となった。

Ⅳ　児童福祉支援事業

１　菊川児童館の運営

《令和２年度運営方針》

児童館は、18 歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における遊び及び生活の援助と子育て支援を行い、子どもを心身共に健やかに育成することを目的とする。この目的達成のため、気軽に来館できる雰囲気作りを職員一同心がけ、親子・大人・子ども同士の出会いと交流が自然にうまれる場となるよう努める。

申し込みの必要がなく、どなたでも自由に気軽に参加できる「にこにこタイム(毎週火曜日～木曜日　11:15～11:45)」の周知に努め、来館促進につなげる。そのために日々の内容を精査し、職員それぞれの特徴を生かした事業とし、“今日は何があるかな？”と期待を持っていただけるよう取り組む。

新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、４月・５月を休館となった。６月からの開館にあたっては、密を避けるため　①入館制限（25 組　50 人以内とする）②滞在時間を 1 時間 30 分以内とする　③申し込みの事業を 15 組以内に制限する　④１日２回（11：30～、16：00～）館内の遊具・おもちゃの消毒をするため退館をしていただく、等の対策をする。また、来館者にもおもちゃの消毒を依頼し、館内に６か所のアルコール消毒液を設置する。

◎　年間利用者数　　18,669 人　（前年度より　11,639 人減）
＊新型コロナウィルス感染症拡大予防対策のため、開館日が 41 日減）
◎　利 用 時 間　　午前９時～午後４時 30 分
◎　休　館　日　　日曜日・月曜日・祝日・年末年始

《実　践　報　告》

（１）乳幼児親子対象事業

①　未就園児親子教室「ふれあいタイム（毎月の申込制）」

ア　０歳児ふれあいタイム

月　　日	活　動　内　容	参加者
５月 21 日(木)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
６月 25 日(木)	親子リトミック遊び（リトミックにこにこ）	16 組(34 人)
９月 24 日(木)		14 組(30 人)
11 月 19 日(木)		12 組(26 人)
２月 25 日(木)		13 組(28 人)
３月 11 日(木)		15 組(32 人)
合　　計　(5 回)		70 組(150 人)

令和元年度　８回　176 組（368 人）

イ　１歳児ふれあいタイム

月　日	活　動　内　容	参加者
4 月 17 日(金)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
5 月 22 日(金)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
6 月 26 日(金)	親子遊び&ママヨガ 講師　水谷小枝さん	14 組(29 人)
9 月 25 日(金)		13 組(27 人)
10 月 16 日(金)		14 組(29 人)
1 月 15 日(金)		10 組(21 人)
2 月 26 日(金)		13 組(27 人)
3 月 9 日(金)		10 組(21 人)
合　計　（6 回）		74 組(154 人)

令和元年度　９回　177 組(364 人)

ウ　２～３歳児ふれあいタイム

月　日	活　動　内　容	参加者
5 月 29 日(金)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
10 月 15 日(木)	運動会遊び	15 組(31 人)
合　計　（1 回）		15 組(31 人)

令和元年度　２回　32 組(75 人)

②　水遊び

簡易プールによる水遊びを３回実施。71 組親子参加。

（２）小中高生対象事業

①　小学生土曜クラブ（クッキング）

月　日	活　動　内　容	参加者
7 月 18 日(土)	新型コロナウィルス感染予防対策のため、中止	
9 月 26 日(土)	新型コロナウィルス感染予防対策のため、中止	
11 月 14 日(土)	かわいすぎて過ぎて食べられない！クマフィン （ボランティア　7 人+6 人）	17 人
11 月 21 日(土)		16 人
12 月 5 日(土)	クリスマスに！かわいいスノーマンボール	８人
12 月 12 日(土)		８人
1 月 23 日(土)	チョコレートのアート　惑星チョコ	８人
2 月 20 日(土)		８人
合　計　（6 回）		65 人

令和元年度　６回(157 人)

②　小学生夏休み教室

月　日	内　容	参加者
８月４日(火)	おやつクッキング （新型コロナウィルス感染予防対策のため、中止）	
８月７日(金)		

夏休み期間中の 火曜日・木曜日	日替わり工作　＊プレイルーム開催時の 14：00～15：00 火曜日(ツムツムプラバン) 木曜日(ディズニーアイロンビーズ) （新型コロナウィルス感染予防対策のため、中止）	
合　　計　（0回）		0人

（令和元年度　9回　179 人）

③　小中高生プレイルーム

【日時】土曜日・長期休暇(春休み・夏休み・冬休み)午後１時～午後４時 30 分
第２土曜日（おもちゃ図書館開館日）はお休み
長期休暇以外の平日の午後は、おもちゃの貸し出しを行った。

【内容】小中高生の健全な遊び、仲間とのかかわりの場となるように卓球台、ビリヤード、キッカーボード、各種ゲームやおもちゃをそろえ、交流できる居場所づくりに努めた。“ちょこっとタイム”として、午後２時～午後３時の間、簡単にできる工作とゲームを開催した。

月	プレイルーム参加者	ちょこっとタイム参加者（内容）
4月	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
5月	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
6月	6人	新型コロナウィルス感染症拡大予防対策のため、中止
7月	9人	新型コロナウィルス感染症拡大予防対策のため、中止
8月	2人	新型コロナウィルス感染症拡大予防対策のため、中止
9月	13 人	新型コロナウィルス感染症拡大予防対策のため、中止
10 月	64 人	54 人(プラバンで鬼滅の刃のキーホルダー作り)
11 月	40 人	25 人(プラバンで鬼滅の刃のキーホルダー作り)
12 月	43 人	31 人(プラバンで鬼滅の刃のキーホルダー作り)
1月	28 人	21 人(アイロンビーズで鬼滅の刃のキーホルダー作り)
2月	59 人	30 人(アイロンビーズで鬼滅の刃のキーホルダー作り)
3月	77 人	48 人(プラバンとアイロンビーズで鬼滅の刃のキーホルダー作り)
合計	341 人	209 人

（令和元年度　1,516 人）

④　高校生と赤ちゃんとの交流事業

【目的】高校生が赤ちゃんとのふれあいから自分の存在･家族のことを考え直し、自分の生命が両親から多くの愛情と慈しみを与えられていることを実感が得られる場とする。赤ちゃんの親にとっては、高校生に我が子の未来の姿を重ね合わせ、日々の子育てを振り返るきっかけになり、育児不安や虐待の予防につなげたい等、相互効果を期待する。

月　日	内　　容	参加者
8月 25 日（火）	《事前学習会》	高校生の夏休み短縮のため、中止
8月 26 日（水）	《乳児親子との交流》	
8月 27 日（木）	《命の学習》	

11月7日（土）	8月に交流した親子との再会	

（令和元年度　4回　205人）

（3）どなたでも参加の事業

①　自由来館

平日は乳幼児親子、土曜日や長期休暇は幼保育園児親子や小学生などが自由に楽しく安全に過ごす場の提供に努めた。初めて来館した親子には館内の利用案内を丁寧に行い、“来てよかった。また来たい。”と感じていただけるよう配慮した。平日の午後は、園児(年少児以上)対象におもちゃの貸し出しを行った。

＊かくれんぼちゃん、ど～こだ！（館内の廊下5か所に月ごとのキャラクターを隠し、見つけるゲーム。毎月1日と15日更新）

②　にこにこタイム

【日時】毎週火曜日～木曜日(長期休暇を除く)午前11時10分～午前11時30分

- 月1回「にこにこ工作」
- 月1回「にこにこ誕生会」
- 月1回「にこにこ交流会(いきいきサロン利用者の招待)」

【内容】親子体操・手遊び・歌遊び・読み聞かせ等を通して親子や来館者同士のふれ合いを楽しんだ。子育て支援センターを含む職員4名の個性を生かした手遊びを取り入れ、親しみやすさ・個性をアピールした。「にこにこ工作」では季節に合った簡単な製作遊び、「にこにこ誕生会」では誕生月の子ども・保護者を来館者みんなで祝う活動、「にこにこ交流会」では「いきいきサロン利用者」を招待し、お年寄りと共に楽しいひとときを過ごした。

月	にこにこタイム(回数)	(誕生会)	(工作)	(交流会)
6月	116組(13回)	15組	ペットボトルでキラキラドーム 16組	20組
7月	142組(11回)	15組	かわいいフェイスシールド 11組	14組
8月	135組(9回)	19組	✔	✔
9月	173組(13回)	21組	エンドレスボンボン 16組	9組
10月	165組(13回)	13組	牛乳パックでかぼちゃのバケツ 20組	13組
11月	121組(11回)	15組	捻って遊ぼう〝くるくるアニマル〟 10組	9組
12月	152組(12回)	19組	✔	✔
1月	177組(12回)	11組	モーモーぽっくり 15組	✔

2月	177組 (10回)	19組	トコトコおひなさま 16組	✔
3月	198組 (12回)	18組	スウィングぴよちゃん 24組	✔
合計	1556組 (116回)	165組	128組	65組

（令和元年度　1,788組　109回）

★申し込みの必要がなく、どなたでも自由に気軽に参加できる事業として「にこにこタイム」は定着している。親子体操⇒手遊び⇒読み聞かせ⇒ゲーム、という一連の流れの中で職員それぞれの特徴を生かして楽しんでいただいた。乳幼児はその日の気分が大きく作用するので、無理せずに保護者も参加しているように感じた。午前中の遊びの締めくくりとしての役割もある。来館する子どもの年齢が低くなりつつあるので、乳児向けの内容を充実させた。

③　特別企画

月　日	活　動　内　容（出演者等）	参加者
5月16日(土)	子どものつどい 新型コロナウィルス感染症拡大予防対策のため休館	
10月31日(土)	秋のおたのしみ会 新型コロナウィルス感染症拡大予防対策のため中止	
12月19日(土)	クリスマス会（グリーンシトラスによるクリスマス演奏会・職員によるパネルシアター・民生委員児童委員によるサンタクロース登場・ちょこっとアイティムプレゼント）	15組 44人
2月1日(土)	ちびっこ節分 （みんなで踊ろう「オニのパンツ」・パネルシアター・豆作り・鬼退治・ラーメン体操・ごほうび） ＊民生委員・児童委員2名と職員1名による鬼登場	15組 33人
合　計		30組 77人

（令和元年度　801人）

④　ウェルカム！児童館　（初来館の方への児童館利用案内）

【内容】リーフレット・お便り・菊川市LINE　資料配布

（単位：組）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
組数	0	0	29	17	11	22	19	15	7	10	18	25	173

令和元年度　32組(87人)

（４）相談支援事業

【内容】職員は来館者とのコミュニケーションを大切にし、気軽に声をかけやすい雰囲気作りに心がけた。相談内容に応じ、専門機関に引き継いだ。

（単位：件）

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
来館	0	0	11	13	7	11	5	7	5	6	9	7	81
電話	0	0	4	2	1	1	1	0	1	0	1	1	12

（子育て支援センター事業相談件数と重複）　　（2019 年度　来館 99 件　電話 0 件）

（５）支援事業

菊川おもちゃ図書館「あそぼ」

【内容】心身に障がいを持つ子ども達が、おもちゃを通して遊ぶ楽しさを知り、多くの仲間と出会うことによって生き生きと成長していくことを促す場である。児童館は、ボランティアグループおもちゃ図書館「あそぼ」の活動支援を行い、開館準備・運営・片付け等の支援を行なった。

【日時】月１回　第２土曜日　10:00～11:30　13:30～16:00（８月はお休み）

＊新型コロナウィルス感染予防対策のため、４月・５月・２月は休館とした

【年間利用者数】

子ども（内 障がい児）	大　人	ボランティア	合　計
135 人（82 人）	93 人	52 人	280 人

（令和元年度　476 人）

（６）地域連携事業

① 中・高校生ボランティア受け入れ　　13 人

② 職場体験学習受け入れ　中止

③ 施設見学等受け入れ

R２インターンシップの受け入れ　９月１日(火)　１人

④ 子育て情報パンフレットコーナー設置

⑤ 絵本の貸し出し・・・中止

⑥ リユース掲示板設置

不要になった育児用品を捨てずに、必要な人に使ってもらうことを目的とする。

⑦ 担当者会議（社協、子育て応援課、両児童館　７月より月１回）

⑧ 菊川市社会教育課主催　ボランティア担当者会議・放課後子ども総合プラン運営委員会　新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため中止

⑨ 菊川市子育て応援課主催　プレママ＆パパサロン（４回）　要保護児童対策地域協議会（月１回）　児童館運営委員会（書面にて）

⑩　菊川市社会福祉協議会　主任者会議（月１回）・理事会・評議員会

⑪　研修等

月　日	内　　容	参加者
６月３日(水)	静岡県児童館連絡会　　総会（書面決議）	増田
６月 30 日(火)	西部地区児童館連絡会　総会（掛川）	増田
７月 15 日(水)	社協コンプライアンス研修会	増田
９月 25 日(金)	静岡県児童館連絡協議会　館長研修会（島田）	増田
12 月９日(水)	西部地区児童館連絡会　実技交流会（笑いヨガ）	松浦
２月 19 日(金)	社会福祉協議会　情報に関する研修 ～コロナのデマにだまされないために～	増田
３月 22 日(月)	社会福祉協議会　広げよう！仕事の喜びを ―互いに尊重しあい自走する組織のために―	増田

（７）　安全管理

①　安全点検

施設・固定遊具等の日常の安全点検と月１回の定期安全点検を実施、点検結果に応じ事後処置を講じるとともに、社会福祉協議会・福祉課に報告した。

②　安全指導

児童館でのルールや遊具の使い方等、事故防止のための指導を行った。入館者名簿は確実に記入していただき、帰宅する小学生・来館者親子には時刻を記入することをお願いし、来館者状況の把握を行った。園児は受付にて親子でのあいさつと名前を言うことをお願いし、ハイテンションによる事故防止に努めた。

③　安全対策

受付にて来館者チェック、初めての来館者への施設利用案内、日常的な見回りと声かけを実施した。災害対応マニュアルを作成し、職員間で確認した。非常時に備えて、救急用品の充実を図った。

新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため１日３回の消毒作業を行い、来館者にも消毒を依頼した。

令和２年度　来館者数

（単位：人）

月 （日数）	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大人	合計	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	市外	組
４月 （0日）	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館									
５月 （0日）										
６月 （21日）	168	640	28	4	0	769	1,609	7	61	709
７月 （21日）	145	971	20	8	0	1,084	2,228	18	97	983
８月 （21日）	104	809	19	2	0	830	1,764	5	92	777
９月 （21日）	160	942	36	0	0	1,009	2,147	10	96	959
10月 （23日）	119	790	75	3	0	865	1,852	7	35	804
11月 （19日）	139	611	77	6	9	756	1,598	24	66	677
12月 （20日）	135	681	90	3	0	737	1,646	15	70	685
１月 （20日）	141	739	58	8	1	801	1,748	18	71	748
２月 （18日）	172	761	70	0	2	871	1,876	0	54	807
３月 （21日）	236	878	93	5	10	979	2,201	30	95	895
合計 （205日）	1,519	7,822	566	39	22	8,701	18,669	134	737	8,044
月平均	152	782	57	4	2	870	1,867	13	74	804
１日平均	7	38	3	0	0	42	91	1	4	39

令和元年度

合計 （227日）	3,324	10,839	2,064	382	236	13,463	30,308	418	1,770	12,785
1日平均	15	48	9	2	1	59	134	2	8	56

２　小笠児童館の運営

◎ 年間利用者数　　11,065 人　（昨年度より 8,557 人減）
（新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、開館日が 41 日減）

◎ 利 用 時 間　　午前９時～午後４時 30 分

◎ 休　館　日　　日曜日・月曜日・祝日・年末年始

《実　践　報　告》

（１）乳幼児親子対象事業

①　未就園児親子教室「みんなのひろば」（毎月申込制）

【対象】市内の０歳児～就園前親子

【日時】午前 10 時～午前 11 時

月　　日	活　動　内　容	参加者
５月 19 日(火)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
６月 11 日(木)	避難訓練＆みんなであそぼう	９組 18 人
７月 14 日(火)	うんどうあそび 講師　大場義貴　氏	16 組 33 人
９月 17 日(木)	リズムあそび 講師　リトミックにこにこ	10 組 24 人
10 月 22 日(木)	遠足 菊川運動公園にて	13 組 26 人
11 月 17 日(火)	うんどうあそび 講師　大場義貴　氏	12 組 27 人
12 月　３日(木) ４日(金)	クリスマス会	７組 16 人 10 組 20 人
１月 19 日(火)	うんどうあそび 講師　大場義貴　氏	12 組 26 人
２月 18 日(木)	リズムあそび 講師　リトミックにこにこ	12 組 26 人
３月　５日(金)	ブックトーク 講師　三浦康子　氏	９組 19 人
合計		110 組 235 人

★ うんどうあそびやリズムあそびを中心に子育てに必要な基本的情報なども取り入れ、「親子、家族で楽しめる」をキーワードとし、家庭に持ち帰っても反復できるような子育てアイテムとなるように工夫を図った。

②　水あそび

【対象】市内の１歳(お座りが出来る子)～未就園の子

【日時】７月中旬～8 月末日
（おおよそ毎日(土曜日・お盆時期は除く)）

【場所】中庭ひろばにて（簡易プール使用）

【利用状況】毎日５組前後の親子が利用した

（２）小中高生対象事業

① 小笠児童館小学生ボランティアサークル （年間登録制のサークル）

＊新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため年間を通して中止とした。

② 小学生チャレンジGO！

【対象】市内の小学生

【日時】毎月１回（８月は除く）

土曜日開催午前10時00分～午前11時30分

月　　日	活　動　内　容	参加者
５月　９日 （土）	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
６月 13 日 （土）	父の日のプレゼント作り （革のキーホルダー作り）	21 人
７月 18 日 （土）	ウォーターバトル&スラックライン体験 講師（スラックライン） 宇佐美竜一　氏	20 人
９月 19 日 （土）	敬老の日のプレゼント作り （革の小銭入れ作り）	20 人
10 月３日 （土）	「ボードゲームであそぼう」 講師　百町森　神田右京　氏	６人
11 月 28 日 （土）	クリスマスケーキ作り 中高生Ⓥ　５人 くすりんにて	23 人
12 月５日 （土）	「ブロックであそぼう ～かたづけチャレンジ～」 講師　親・子の片付け インストラクター 鈴木あいか　氏	11 人
１月 16 日 （土）	「なわとび＆ドッヂボール」 講師　エンジョイキッズ 村松成樹　氏 中高生Ⓥ　３人	20 人
２月 20 日(土)	出前講座 「みんなで学ぼう防災について」 講師　菊川市危機管理職員２人 取材５人 中高生Ⓥ１人	27 人
３月６日(土)	エクササイズ～パンチ＆キック～ 講師　フィットネスインストラクター 鈴木二三枝　氏 取材２人 中高生Ⓥ２人	14 人
合計	９回開催	162 人

（令和元年度　開催回数９回　参加者 268 人）

★小学生が興味深く関心を持ち、また現代の子ども達のニーズや体験したいことをキャッチし小学生本人が「チャレンジ」し、「GO！」と参加できるよう

な内容に工夫した

③　小中高生ひろば

【日時】土曜日・長期休校（春休み・夏休み・冬休み）
午後１時 15 分～午後４時 30 分
学校が短縮日課等で、小中生が多く来館した場合は状況により開催した。尚、４月～５月は新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館していた。

【内容】小中高生の健全な遊び、仲間との関わりの場や居場所作りとなるように努めた。「おたのしみ工作タイム」(13:30～15:00)として簡単な工作を提供した。尚、新型コロナウイルス感染症防止対策のため休館し、６月より再開館した後 10 月までは「お楽しみ工作タイム」を休止していた。それに伴い「夏休みのおたのしみ工作タイム」も行わなかった。
*小中高生ひろば　　（延べ参加人数　716 人/132 日）
*土曜日の「おたのしみ工作タイム」
（延べ参加人数　202 人/22 日）

（３）　どなたでも参加事業

①　自由来館

平日は乳幼児親子、土曜日・長期休校・休園中は幼稚園親子や小学生などが自由に過ごす場の提供を行った。幅広い異年齢の子ども達、また保護者が一緒に安全に過ごせるように配慮した。職員が役割や任務を果たしながら一緒に遊びや相談業務を行った。新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため館内で楽しんでもらう貸し出しおもちゃは数を制限して提供した。館内ゲームは通年通り用意した。
館内ゲーム「さがしてごらん」は、年間参加者数　延べ 1,499 人参加

②　おりがみタイム

【対象】どなたでも参加
【日時】毎月１回　午後３時 30 分～午後４時

月　　日	活　動　内　容	参加者
４月 24 日（金）	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
５月 22 日（金）	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
６月 26 日（金）	折り紙「七夕飾りのすいか」	６組 15 人
７月 17 日（金）	読み聞かせ「るるるるる」 折り紙「かみひこうき」	９組 25 人
８月 28 日（金）	読み聞かせ「かにこちゃん」 折り紙「かにさん親子」	６組 19 人
９月 25 日（金）	読み聞かせ「まてまてまて」 折り紙「とんぼのタペストリー」	４組 10 人
10 月 30 日（金）	読み聞かせ「トリックオアトリート」 折り紙「ハロウィンバッグ」	３組７人

11月27日(金)	読み聞かせ「くまくまパン」 折り紙「くまさんのバッグ」	9組28人
12月18日(金)	読み聞かせ「さんかくサンタ」 折り紙「サンタクロース」	8組25人
1月29日(金)	読み聞かせ「お面です」 折り紙「節分壁飾り」	7組23人
2月26日(金)	読み聞かせ「みんなおひなさま」 折り紙「うさぎのおひなさま」	7組29人
3月12日(金)	読み聞かせ「はらぺこあおむし」 折り紙「チューリップ畑」	8組23人
合計		67組204人

（令和元年度　参加者数214人）

③　特別企画

【内容】いろいろな体験を通し、多くの人たちとふれあい、楽しい時間を過ごした。

月　　日	活　動　内　容	参加者
7月4日（土）	夏のおたのしみ会 新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止	
12月12日(土)	クリスマス会 ゲスト　掛川ウインドアンサンブル	90人
合計		90人

（令和元年度　参加者数142人）

④　絵本の貸し出し事業

＊新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため年間を通して中止とした。

⑤　はじめまして！児童館

【対象】引っ越してきた方・あまり利用したことがない方・知りたい方、友達関係を持ちたい方などを対象に使用説明を行う。

いつでも受け付ける形にして歓迎する。　初来館者　66組

⑥　おもちゃ病院

【対象】児童館利用者どなたでも

【日時】年10回開院（10:00～11:30）

【内容】壊れたおもちゃの修理

月　　日	参加者
4月25日(土)	新型コロナウイルス感染症 防止対策のため休館
5月23日(土)	
6月27日(土)	4組(13体)
7月25日(土)	4組(13体)
8月22日(土)	10組(13体)
9月26日(土)	13組(20体)

11 月 21 日(土)	11 組(16 体)
12 月 26 日(土)	10 組(14 体)
1 月 23 日(土)	８組(15 体)
2 月 27 日(土)	５組(９体)
3 月 27 日(土)	４組(８体)
合計	69 組(121 体)

（４）相談支援事業

① 子育て相談業務

【内容】子育て全般に対する相談窓口として、電話、来館にて相談に応じた。また来館者に積極的に声を掛け、多くの見守りの中で子育てをしている安心を感じてもらえるように配慮した。

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
来館	0	0	32	7	13	18	13	12	10	19	24	18	166
電話	1	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	5

（単位：件）

（子育て支援センター相談件数と重複）（令和元年度　来館者 169 件　電話 12 件）

（５）支援事業

子どもたちが健やかに育つことを願い、地域資源を有効に利用し見守った。

① 菊川市みらい子育てネット母親クラブの育成・支援

「小笠南地区のいちご会」

小笠南小学校区を拠点に活動を進めて会員相互の活動、地区全体の活動など幅広く活動した。

（６）地域連携事業

① 中高生ボランティア受け入れ

菊川市ボランティア体験活動受入れ　延べ　13 人

② 施設見学受け入れ

ア　聖隷クリストファー大学３年生（８月 26 日）

イ　静岡県立大学短期大学部２年生(８月 28 日)

ウ　静岡福祉大学４年生（９月９日）

エ　静岡県職員視察（10 月 28 日）

オ　小笠東小学校２年生　（９月 18 日）　５人

カ　小笠北小学校２年生　(10 月１日、２日、７日)　77 人

③ 担当者会議(子育て応援課、社協、両館長での事業報告及び検討会)（７月より月１回開催）

④ 菊川市社会教育課

ア　子ども読書活動推進協議会参加(年２回)

⑤ 菊川市健康づくり課

ア　プレパパママサロン参加(年３回)

イ　療育教室「のんのん」参加(年３回)

⑥ 菊川市福祉課

児童館運営委員会(年１回)(書面決議)

⑦　菊川市社会福祉協議会
ア　主任者等会議出席(月１回)
イ　理事会、評議員会
エ　小笠児童館館内研修会

⑧　職員研修会参加

月　　日	内　　容
６月　３日(水)	静岡県児童館連絡協議会　　総会　（書面決議）
６月 30 日(火)	静岡県西部地区児童館連絡協議会　　総会
９月 25 日(金)	静岡県児童館連絡協議会　　館長研修会
10 月１日(木)	静岡県西部地区児童館連絡協議会 館長・運営研修会
２月　５日(金)	静岡県児童館連絡協議会　　会計監査
２月 19 日（金）	情報にまどわされるな！ ～コロナ禍でのデマに感染しないための４つのワクチン～
３月 22 日（月）	広げよう！仕事のよろこびを
３月 23 日（火）	静岡県児童館連絡協議会　　理事会　（書面決議）

⑨　他の機関とのつながり
ア　児童館だより等配布
（各小学校・幼稚園・保育園・こども園・各関係施設）
イ　菊川市茶業振興課より　「お茶についてのアンケート調査」
ウ　菊川社協より　「市民満足度調査アンケート」

（７）安全管理
①　安全点検
ア　施設、固定遊具、玩具（危険個所や破損物）などの日常点検と月１回の点検と業者（YSKIT）による点検(年２回)を行った。
イ　消防設備点検(８月、２月)
ウ　点検結果により随時適切に事後処理を行った。また、内容によっては社協および子育て応援課にて対応頂いた。
あそびのひろばの床のささくれ事故の発生（８件）
エ　新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により、遊具２点を設置して頂いた。（３月 12 日）

②　安全指導
ア　児童館でのルールや遊具の使い方など事故防止のための指導を繰り返し行い、子どもたちに安全に遊べるための意識を身につけていくように促した。
イ　館内はすべりやすい所やささくれもあり、注意して安全に遊べるように呼びかけた。また、小中高生ひろば時は卓球・サッカーゲームの準備時は職員が必ず一緒に行った。開催時間帯はその場所に滞在して遊びを見守った。(安全面確保のため乳幼児の立ち入りを制限した)
ウ　非常口通路の確保ができるように、靴はくつ箱に入れる。また廊下や室内に荷物や物を置きっぱなしにしないよう整理整頓に心掛けた。
エ　流行性の疾病が発生した時は、おたより等でうがいや手洗いなどの励行を呼びかけ、発症の時は児童館への来館を控えるなど館内にポスターを掲示し注意を促した。また、来館を控えていただきたい子が来た時は、

事情を丁寧に説明し帰宅を促した。
新型コロナウイルス感染症防止対策のため４月１日～５月 31 日まで休館の措置。職員は平常通り出勤し、感染状況の連絡を受けたり知らせたり、研修、掃除、諸準備を行った。

③　安全対策

ア　挨拶を交わし合うことで不審者対策をした。新型コロナウイルス感染症防止対策のた受付にて来館者カードに記入頂きチェックした。日常の見回りと声掛けを実施した。

イ　初めての来館者には丁寧に施設利用を説明した。

ウ　退館状況の把握が確実にできるように、来館者全員に帰る時刻を記入いただいた。

エ　災害時の対応について、おたより等で周知をし、館内に掲示して周知に努めた。

オ　地震に備え、卓球台・ビリヤード台・サッカー台など、使用しない時は安全ベルトで固定している。非常口通路の確保ができる様に館内の整理整頓に心掛けた。

カ　長年使用している遊具は年月を確認して、業者（YSKIT）による破損や耐久年数を調査の上、安全確保のため使用を控え、状態によっては処分をした。

キ　新型コロナウイルス感染症を含む流行性疾病を予防して換気、消毒を行う。また、来館者にも使用したおもちゃの消毒に協力してもらった。アルコール消毒液は館内に設置。

ク　諸症状がある人に対しては完全に治るまで来館を遠慮してもらう。

令和２年度　小笠児童館月別入館者数　（単位：人）

月 (日数)	乳児	幼児	小学生	中学生	高校生	大人	合計	ボランティア	(市外)	組
４月 (０)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館									
５月 (０)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館									
６月 (21)	53	283	92	3	4	381	**816**	(０)	(49)	333
７月 (21)	85	363	87	8	2	450	**995**	(０)	(124)	389
８月 (21)	56	407	130	14	3	412	**1,022**	(０)	(162)	410
９月 (21)	84	493	122	6	1	536	**1,242**	(０)	(136)	504
10 月 (22)	62	423	197	7	2	445	**1,136**	(０)	(44)	423
11 月 (19)	80	355	111	2	4	374	**926**	(５)	(85)	358
12 月 (20)	78	459	80	33	7	403	**1,060**	(０)	(92)	408
１月 (20)	83	534	140	16	2	495	**1,270**	(３)	(100)	457
２月 (18)	84	495	148	14	1	516	**1,258**	(１)	(109)	497
３月 (21)	109	482	182	74	16	477	**1,340**	(６)	(105)	449
合計 (204)	774	4,294	1,289	177	42	4,489	**11,065**	(15)	1,006	4,228
月平均	77	429	107	17	4	448	**1,106**	(１)	100	422
１日平均	3.8	21.4	6.3	0.8	0.2	22.4	**55.3**	(０)	5	21.5

令和元年度

合計 **(248日)**	1,367	6,867	2,850	274	86	8,178	**19,622**	(261)	(2,225)	7,228

３ きくがわ子育て支援センター「たんぽぽ」事業

子育て家庭（これから子育てを始める家庭を含む）の家族の居場所・友達作りの場・相談の場として活用していただき、新型コロナウイルス感染症の対策をした上で、少しでも安心して楽しい子育てができるように支援を行う。また、子どもたちの健やかな成長の支援ができるように、子育て親子の交流の場の提供や講習会を開催し、子育てに関する相談に応じる。

《実　践　報　告》

（１）子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

①　自由来館

新型コロナウイルス感染症拡大予防対策をした上で、親子で遊んだりママ友達と情報交換をしたりして、自由にゆったりと過ごす場を提供した。幼稚園・保育園児（３歳以上）には、消毒しやすい貸出おもちゃを用意し遊びの幅を広げるよう配慮した。

②　0歳児親子教室「はじめの一歩」

【対象】0歳児親子

【内容】コロナ禍の影響もあり誰もが孤立しがちな状況の中、はじめての子育てをする親子が、子どもとのふれあいや友達になった親子との交流を楽しむとともに、友達づくりや親の情報交換の場となるよう行った。

開催日	活　動　内　容	参加人数
４月１日(水)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため中止	
５月 13 日(水)		
６月 16 日(火)	おうちパン　（講師　瀧本春奈）	12 組(25 人)
７月　１日(水)	親子ヨガ　（講師　越水律子）	８組(17 人)
９月 17 日(木)	ベビーダンス（講師　皆川友紀子）	11 組(23 人)
10 月 14 日(水)	おもちゃ作り （チェーンリングのおもちゃ作り）	12 組(24 人)
11 月 26 日(木)	お年賀アート　～ママがカメラマン～	15 組(34 人)
12 月 15 日(火)	産後の腰痛予防 （講師　理学療法士　川合弘基）	９組(20 人)
１月 28 日(木)	ベビーダンス（講師　皆川友妃子）	12 組(25 人)
２月 17 日(水)	親子ヨガ　（講師　越水律子）	12 組(25 人)
３月 10 日(水)	親子ヨガ　（講師　越水律子）	15 組(31 人)
合　　計	9 回	106 組(224 人)

令和元年度　10 回　191 組　391 人

★出産後、家にこもりがちな乳児親子に“子育て支援センター”を知ってもらう第一

歩の事業として位置づけて開催している。家から外に出て事業に参加することで、職員や同じ月齢の子を持つ母親同士のつながり、社会とのつながりを感じてもらった。そこから継続した自由来館につながっている様子が見受けられる。職員が積極的に声をかけて信頼関係を築き、その後の育児相談につながっている。事業への参加回数が増えて顔を合わせているうちに母親同士がつながっていく場面もみられ、育児休暇中の母親の利用も多くみられた。

（２）子育て等に関する相談、援助の実施

① 子育て相談業務

子育て全般に関する相談窓口として、電話・来館にて相談に応じた。また、来館者に積極的に声掛けをして話しやすい雰囲気をつくるよう配慮し、信頼関係を築き、何気ない会話の中から子育てに対する不安が少しでも楽になるよう努めた。

＜相談件数＞ （単位:件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館	0	0	11	13	7	11	5	7	5	6	9	7	81
電話	0	0	4	2	1	1	1	0	1	0	1	1	12

（児童館相談件数と重複） （令和元年度　来館者 99 件　電話０件）

＜相談内容＞　抜粋

○ 発育不安

・トイレトレーニングの進め方が分からない。・言葉が遅くて心配。・わがままとこだわりが強くて困る。就学に向けて親はどこまで手を掛ければ良いのか知りたい。・我が子が支援学級を勧められてなかなか納得できなかった。・子どもの便秘が心配。

○ 育児不安

・離乳食の進め方。消毒の仕方。・離乳食後に突然じんましんが出た。どうしたらよいのか。

・兄弟げんかが激しくて困る。・１日どう過ごせば良いのか、子どもとどう遊べばよいのか、夫が働いているのに自分は何もできないという焦り。

○ 家庭での心配事

・市外に新築中。上の子の小学校入学とともに引っ越しだが、人見知りが強い子なので心配している。自分自身も期待と不安がある。

・習い事や塾はいつから行かせた方が良いのか。

・仕事に復帰したいが忙しい。家庭もおろそかにしたくない。働き方に悩む。

○ 園での心配事

・保育園に見学に行きたいがどうすれば良いのか。

・退職して無職の状態でいると保育園は退園になってしまうのか。

○ その他

・娘夫婦（浜松在住）が３人目の里帰り出産を控えている。祖父母（菊川在住）が連れていくので利用させてほしい。

・予約を入れた事業に行かなくてはいけないと思うと、重荷になり辛くなってしまう。

・自分の働き方を考えている。社会保険に入っておきたい。

② 子育て相談事業「おしゃべりひろば」

【対象】０～３歳児親子

【内容】テーマについてや、親子あそびなどを通して、職員や母親同士の繋がりの中で小さなことでも相談・おしゃべりすることで、気持ちの負担の軽減につながるよう配慮した。

開催日	活　動　内　容	参加人数
５月 27 日(水)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため中止	
７月８日(水)	おやこタイム（小麦粉粘土）	12 組(25 人)
９月 23 日(水)	食事マナーについて（講師　星野真由美さん）	11 組(23 人)
10 月 20 日(火)	おやこタイム（きのこカステラを作ろう！）	10 組(20 人)
３月 17 日(水)	食育　　（講師　星野真由美さん）	９組(18 人)
合　　計　　（５回）		42 組(86 人)

（令和元年度　８回　113 組　250 人）

③ 子育て応援課主催の「要保護児童対策地域協議会」に参加し、支援の内容を協議した。(年 12 回)

④ 健康づくり課主催の「食育連絡会」への参加

（３）地域の子育て関連情報の提供

託児や子育て支援に関する情報(民間を含む)を集め、自由に持ち帰ってもらった。

（４）子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

「子育てレッスン」

【対象】０歳～３歳の子を持つ保護者

【内容】親の子育て力を高める活動、親のリフレッシュ活動、子どもとのふれあいを楽しむ活動を通して子育ての楽しさを実感した。

【託児協力】更生保護女性の会、民生委員・児童委員

※託児協力は７月のみ。新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため託児は中止する。

月　　日	活　動　内　容	参加人数
４月 15 日(水)	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止	
５月 20 日(水)		
６月９日(火)	親子で運動遊び（講師　村松茂樹さん）	９組(20 人)
７月 15 日(水)	食育　パッククッキング （講師　星野真由美さん）	12 組(41 人)
８月 28 日(金)	ミニ夏祭りごっこ	20 組(47 人)
９月 16 日(水)	親子でバレエ　（講師　小川ゆりなさん）	11 組(23 人)

10 月 9 日(金)	消防署見学　　(菊川市消防署)	20 組(45 人)
11 月 18 日(水)	防災講座　　(講師　菊川市危機管理課)	7 組(16 人)
12 月 25 日(金)	ミニ忘年会ごっこ	15 組(32 人)
1 月 26 日(火)	出張おはなし会（講師　小笠図書館)	11 組(24 人)
2 月 9 日(火)	乳幼児の救急法（講師　菊川市消防署)	15 組(33 人)
3 月 3 日(水)	ハンドメイド　(スクラップブッキング)	15 組(31 人)
合　　計		153 組(312 人)

（令和元年度　215 組　606 人）

（5）地域支援活動の実施

移動子育て支援センター「すくすくひろば」

【対象】子育て中の親子、妊婦さん

【内容】各地区センターへ出向き感染症対策をした上で、手遊び、おもちゃ遊び、歌、絵本、制作、ふれあいトーク等を通して子育て支援を行った。各地区センターに訪れることで、市外・県外出身の親にもこの地域を知る良い機会となった。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 5 月は中止する。

地区センター名	回　数	参加組数	延べ人数
西方地区センター	1	11 組	22 人
河城地区センター	2	30 組	60 人
青葉台コミュニティセンター	2	21 組	42 人
横地地区センター	2	20 組	40 人
内田地区センター	2	23 組	47 人
合　　計	9	105 組	211 人

（令和元年度　22 回　213 組　461 人）

（6）職員研修

月　日	内　　容	参加者
7 月 15 日(水)	社協職員研修 コンプライアンス研修(講師　古井慶治さん)	松村
11 月 7 日(土)	地域子育て支援拠点研修	松村
11 月 12 日(木)	静岡県子育て支援員研修(専門コース)	平野
11 月 20 日(金)	静岡県児童館連絡会　厚生員研修 講義・グループ討議(オンラインにて)	松村
12 月 9 日（水)	西部地区児童館連絡会　実技交流会（笑いヨガ)	松村
2 月 19 日(金)	社協職員研修 コロナ・デマに感染しにくくなる≪4 つのワクチン≫	松村

3 月 22 日（月）	社協職員研修　　広げよう！仕事の喜びを ～互いに尊重しあい自走する組織のために～	松村

4　おがさ子育て支援センター「ひまわり」事業

《実　践　報　告》

（１）子育て親子の交流の場の提供と交流の促進

①　自由来館

親子や友だちと一緒に遊んだり、おもちゃを介して遊んだりと子どもと過ごす場の提供をした。職員は様子を見ながら話しかけたり、子どもとのふれあいを楽しみながらお母さん達との距離を縮め、気軽に声をかけてもらえるような雰囲気作りに意識した。新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため館内で楽しんでもらう貸し出しおもちゃは数を制限して提供し遊びの幅を広げた。

②　コロコロタイム（毎月申込制）

【対象】市内の３ヵ月～1 才未満の親子

【日時】毎月１回ないし２回（８月は除く）午前 10 時～午前 11 時

【内容】子育てを楽しめるように様々な角度から情報を提供した。

また、フリートークでは「子育て」について多くの意見を交換した。

月　　日	活　動　内　容	参加者
5 月 20 日(水)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
6 月 3 日(水)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
7 月 15 日(水)	走る本屋さん～絵本を楽しもう～ 講師　走る本屋さん 高久書店　高木久直　氏	14 組 30 人
29 日(水)	親子ヨガ　講師　越水律子　氏	7 組 15 人
9 月 2 日(水)	ベビーマッサージとひよこ蒸しパン試食	9 組 18 人
10 月 21 日(水)	ハロウィンパーティー （6 か月～1 歳 6 か月まで拡大して行う）	13 組 26 人
11 月 10 日(火)	骨盤ケア（3 か月～6 か月に限定して行う） 講師　中東遠医療センター 静岡県理学療法士会	5 組 13 人
11 日(水)	お昼寝アート	11 組 22 人
12 月 2 日(水)	クリスマスパーティー （6 か月～1 歳 6 か月まで拡大して行う）	10 組 20 人
1 月 13 日(水)	親子ヨガ　講師　越水律子　氏	5 組 11 人
2 月 12 日(金)	幼児食について　栄養士　星野真由美　氏	12 組 25 人
3 月　4 日(木)	うちわでスクラップブッキング	8 組 16 人
合計		94 組 196 人

（令和元年度　参加者数 206 組 444 人）

③　ちびっこおたのしみ館

【対象】事前申込制

【日時】毎月１回ないし２回（８月は除く）

①午前 9 時 30 分～、

②午前 10 時 30 分～、２部制及び事前申込制

【内容】読み聞かせ、手遊び、工作などを通して親子のふれあいや

お友だち親子との関わりを楽しんだ。

月　　日	活　動　内　容	参加者
4月 21 日(火)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
5月 12 日(火)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
6月　9日(火)	手あそび・読み聞かせ・工作「カラフルいもむしおもちゃ」・リズム「パプリカ」	9組 18 人
23 日(火)	手あそび・読み聞かせ・工作「手形プラ板キーホルダー」・パネルシアター「だれのせんたくもの」	11 組 22 人
7月　7日(火)	歌あそび・読み聞かせ・工作「七夕飾り」・リズム「パプリカ」	14 組 28 人
9月8日(火)	手あそび・読み聞かせ・工作「敬老の日のプレゼント」・リズム「パプリカ」・紙皿シアター「たべたのだあれ」	17 組 36 人
29 日(火)	手あそび・読み聞かせ・工作「アンパンマン号風お散歩ゴーゴー」・エプロンシアター「アンパンマンとばいきんマン」	18 組 37 人
10 月 27 日(火)	手あそび・読み聞かせ・工作「ハロウィンバンジョー」ゲーム「ピニャータ割り」・紙皿シアター「トントントン」	15 組 32 人
11 月 24 日(火)	手あそび・読み聞かせ・工作「コッシ―とサボさん風ポックリ」・リズム「紅連華」・パネルシアター「サンタさんからのプレゼント」	16 組 33 人
12 月　8日(火)	手あそび・読み聞かせ・工作「サンタクロースキャッチ」・リズム「紅連華」	17 組 37 人
1月 26 日(火)	手あそび・読み聞かせ・工作「アンパンマン福笑い」・リズム「勇気リンリン」・パネルシアター「冬の日のさんぽ」	20 組 40 人
2月　2日(火)	手あそび・読み聞かせ・工作「鬼の的あて」・リズム「おにのパンツ」・エプロンシアター「ももたろう」	21 組 43 人
16 日(火)	歌あそび・手あそび・読み聞かせ・工作「おひなさま」 紙芝居「赤い羽根共同募金」(社協松下副会長)	18 組 36 人
3月　9日(火)	手あそび・読み聞かせ・工作「キャンデーポーチ」・パネルシアター「いちごはどこ？」いちご狩りごっこあそび	20 組 41 人
合計		196 組 403 人

(令和元年度　参加者　315 組 687 人)

★来館した人が気軽に参加できる行事だったが新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のためとして、人数制限および2部制で行うことにより密になることを避けて行った。季節の行事を含め、「ちびっこおたのしみ館」の名の通り、楽しいことをたくさん用意して、子育てを楽しむ応援行事にした。

④　よっといでふれあい運動会

＊新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため中止とした。

（2）子育てに関する相談、援助の実施

① 子育て相談業務

子育て全般に対する相談窓口として、電話、来館にて相談に応じた。また、来館者に積極的に声を掛け、多くの見守りの中での子育てをしている安心を感じていただけるように配慮した。新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として休館中でも電話での相談は受け付けていた。6月よりの再開館の際には、来館および相談業務促進のため、マスクや消毒用のタオルなどを配布した。

（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来館	0	0	32	7	13	18	13	12	10	19	24	18	166
電話	1	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	5

（児童館相談件数と重複）　　（令和元年度　来館者 169 件　電話 12 件）

その他、「頭と心と体の講座」や「コロコロタイム」でフリートークタイムを持ち、職員が寄り添い、一緒に考え共感したり、アドバイスを行った。
気になる親子や継続した見守りが必要な親子はその後の来館時も気にしながら声かけを行った。また受けた相談については記録し、職員間で共通理解し保健師へ繋げた。専門機関へも繋げて対応した。

＜相談内容＞

子どもの発達や健康について・療育教室や専門機関について・生活習慣について・食生活について・子どもの性格について・入保、入園について・こども園について・待機児童対策について・母親の悩み事について(自分自身のこと・同居の父母とのこと・夫のこと・近隣のこと・自分の子育てについて等)

② 誕生会&読み聞かせ

【対象】どなたでも
【日時】年 12 回　　午前 10 時～10 時 30 分
【内容】お誕生日を祝った。親子で絵本やあそびを楽しむ。

月　日	活　動　内　容	参加者
4月 24 日(金)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
5月 22 日(金)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
6月 26 日(金)	誕生会・絵本の読み聞かせ	4組8人
7月 17 日(金)	誕生会・絵本の読み聞かせ	9組 19 人
8月 28 日(金)	誕生会・絵本の読み聞かせ	6組 14 人
9月 25 日(金)	誕生会・絵本の読み聞かせ	7組 14 人
10 月 30 日(金)	誕生会・絵本の読み聞かせ	11 組 26 人
11 月 27 日 (金)	誕生会・絵本の読み聞かせ	8組 19 人
12 月 18 日(金)	誕生会・絵本の読み聞かせ	11 組 23 人
1月 29 日(金)	誕生会・絵本の読み聞かせ	11 組 27 人

2月26日(金)	誕生会・絵本の読み聞かせ	10組21人
3月12日(金)	誕生会・絵本の読み聞かせ	11組23人
合計		88組194人

（令和元年度　参加者数　60組138人）

★新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため短時間での誕生会になったが、子どもの成長を祝い、またわが子の成長にも重ね合わせることにより子育ての楽しみを見つけられたような気がする。絵本の読み聞かせも季節を感じる良いアイテムとなった。

③　菊川市要保護児童対策協議会
乳幼児部会　毎月参加　情報を共有しながら支援を協議した。

（3）地域の子育て関連情報の提供
①　子育て情報の提供
ア　支援センターだより
イ　子育てに関する国、県、市からのお知らせ
ウ　託児情報・サークル情報など
エ　園の自由来園情報や入園のお知らせ

（4）子育て及び子育て支援に関する講習会などの実施
①　頭と心と体の講座
【対象】市内の未就園児親子
【日時】年12回　　午前10時～11時
【内容】在宅育児の親子が子育てのスキルアップのため、講師から話を聞いたり、共に作業をすることにより楽しい時間を過ごした。
【場所】子育て支援センター・みねだ会館・くすりん

月　日	活　動　内　容	参加者
4月23日(木)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
5月15日(金)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため休館	
6月18日(木)	「子どものヘアーカット講座」 講師　Nonnohair スタイリスト　三浦教資　氏	7組15人
7月16日(木)	「親子でエクササイズ(ズンバ)体験」 講師　鈴木未来　氏 場所　みねだ会館	12組26人
8月26日(水)	「絵本の読み聞かせ＆簡単工作 (とことこペンギン)」	9組21人
9月24日(木)	「災害時防災対策について ～日ごろから取り組もう～」 講師　菊川市役所　危機管理課職員	7組18人
10月6日(火)	「子どもの歯磨き指導～仕上げ磨きの仕方」 (8020双葉事業) 講師　静岡県歯科衛生士会	12組26人
11月19日(木)	「ママが作るフルーツサンド」 講師　BakeandCake　ぱふ　鷲山智士　氏	8組16人

12 月 10 日(木)	「クリスマスコンサート」（２部制） ゲスト　グリーンシトラスミュージック	18 組 41 人
1 月 21 日(木) 22 日(金)	「だるまさんリュック作り」 （２日間に分けて行う）	19 組 39 人
２月５日(金)	「ライフプランニング＆ キャンデーキーホルダー作り」 講師　ソニー生命保険（株） ライフプランナー　大畑　達哉　氏	12 組 25 人
３月 17 日(水)	人形劇「ともだちいっぱいたのしいな」 ゲスト　水ようおはなし会	13 組 32 人
合計		117 組 259 人

（令和元年度　参加者数　174 組 422 人）

★毎月開催の講座を通し、子育て中の親にとって何かしらの子育てのヒントやなるほど感、すっきり感を体得してもらった。いつもの年よりも新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、殊更人数に制限を設けての開催だった。また、子どもと離れた時間を過ごすことができずホッと一息できなかったように思われる面もあった。しかし傍らに遊ばせながら上手に子育てを楽しんでいたようにも見受けられた。子育て中ではあるがいろいろなことに意識を持ち、楽しい子育てができるよう参加者のニーズを聞き取りながら把握し反映できた。

（５）地域支援活動の実施

①　職員研修

月　　日	内　　容
７月 15 日(水)	菊川市社協職員研修会（コンプライアンス）
10 月　１日(木)	静岡県西部地区児童館連絡協議会　館長・運営研修会
11 月　７日(土)	厚生労働省委託事業 「地域の人材による子育て支援活動強化研修会」
11 月 20 日(金)	静岡県児童館連絡協議会児童厚生員研修会(オンライン)
12 月　９日(水)	静岡県西部地区児童館連絡協議会実技研修会
２月 19 日(金)	菊川市社協職員研修会（情報にまどわされるな！）